

統計からみる島根県

目次

1. 島根県をデータから概観する
2. 島根県の人口（国勢調査からわかること）
3. 統計にみる島根県経済へのコロナの影響
4. 最後に

1. 島根県をデータから概観する

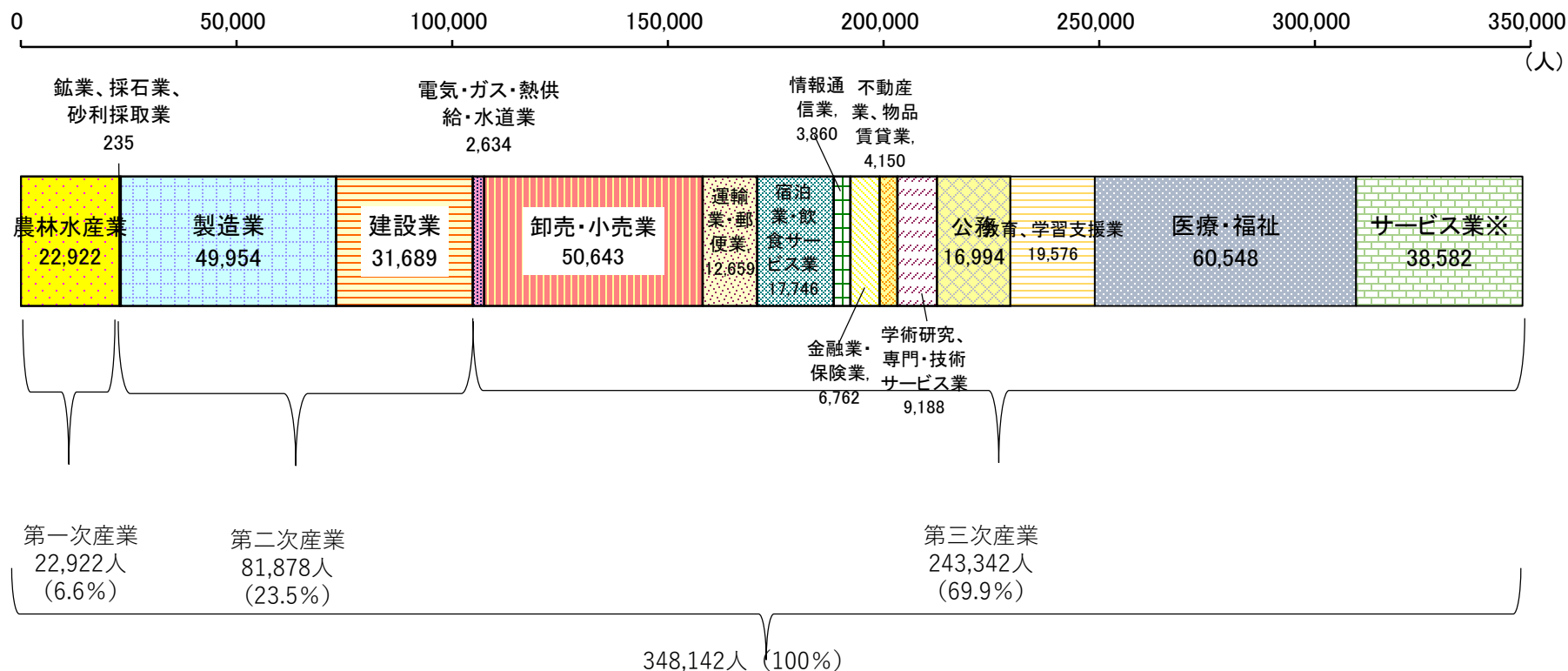
- (1) 島根県のデータ
- (2) 「知事からのメッセージ」
- (3) 全国順位からみた島根県

島根県のデータ

項目	島根県	全国に占めるシェア	全国	調査時
面積	6,707.86km ²	1.8%	377,973.56km ²	R5.1.1
人口	671,126人	0.5%	126,146,099人	R2.10.1
0～14歳	81,837人 (12.2%)	0.5%	15,031,602人 (11.9%)	R2.10.1
15～64歳	359,735人 (53.6%)	0.5%	75,087,865人 (59.5%)	R2.10.1
65歳以上	229,554人 (34.2%)	0.6%	36,026,632人 (28.6%)	R2.10.1
世帯数	269,892世帯	0.5%	55,830,154世帯	R2.10.1
人口密度	100.1 人/km ²	—	338.2 人/km ²	R2.10.1
男の人の平均 寿命	81.63年	—	81.49年	R2
女の人の平均 寿命	88.21年	—	87.60年	R2

島根県の産業別就業者数 (令和2年国勢調査 不詳補完値)

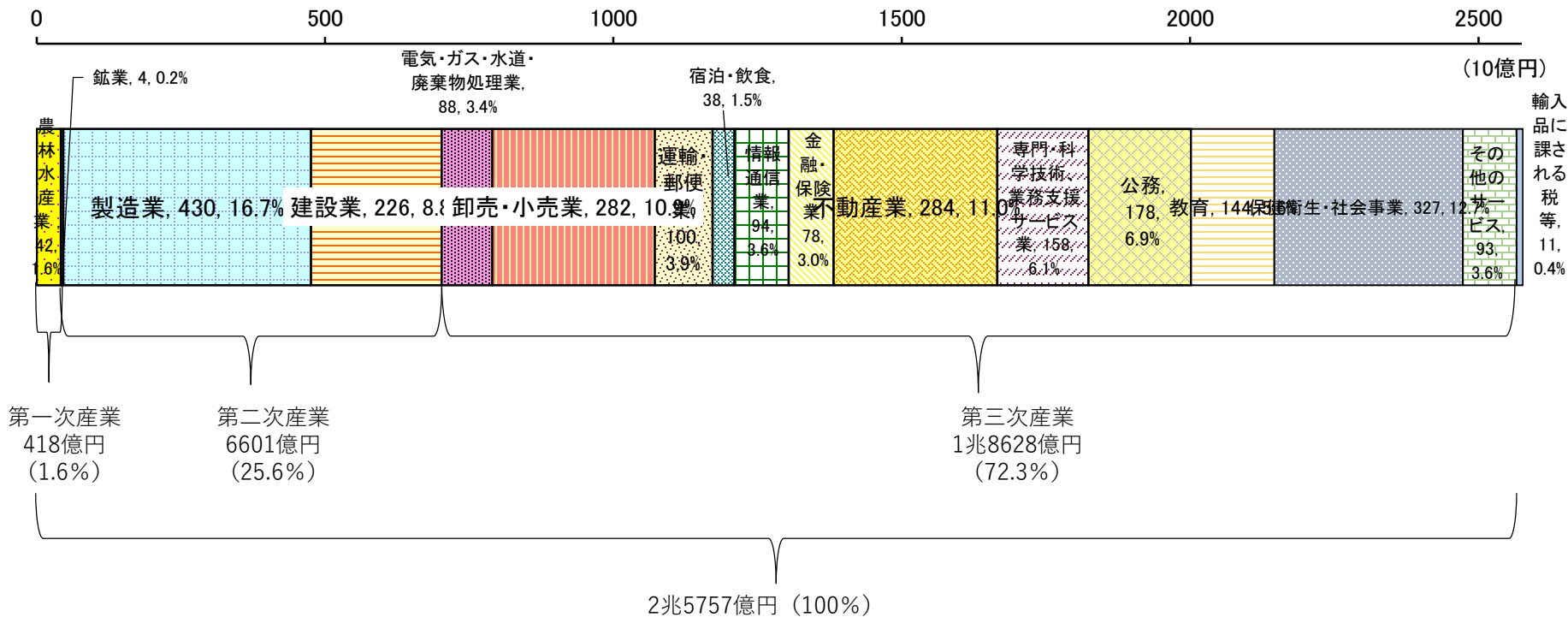
- ・ 令和2年国勢調査における就業者人口（15歳以上のうち、就業している人）は348,142人
- ・ 産業3部門別の構成比は、第1次産業6.6%、第2次産業23.5%、第3次産業69.9%



※ サービス業は、「生活関連サービス業、娯楽業」「複合サービス事業」「サービス業（他に分類されないもの）」を合算

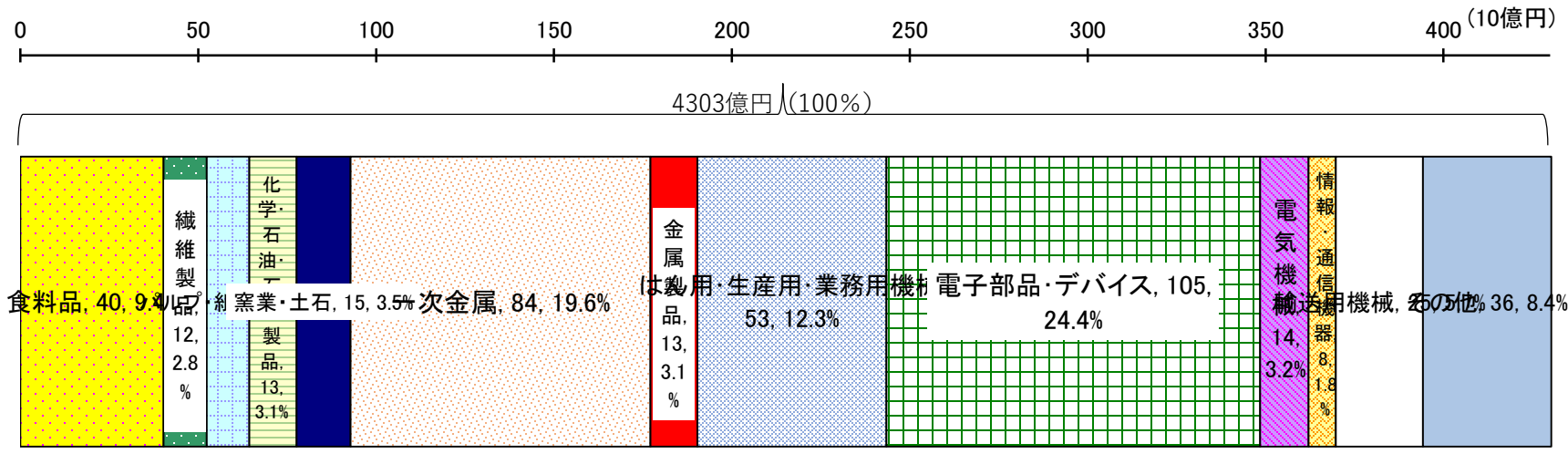
島根県の産業別県内総生産額 (令和2年度経済活動別県内総生産(名目))

- ・ 令和2年度の県内総生産（県全体の付加価値額）は、名目で2兆5757億円
- ・ 産業3部門別の構成比は、第1次産業1.6%、第2次産業25.6%、第3次産業72.3%



製造業における島根県の県内総生産額 (令和2年度経済活動別県内総生産(名目))

- 令和2年度の県内総生産が最も大きい製造業（4303億円）の内訳を見ると、もっともシェアが大きいのは電子部品・デバイス、次いで一次金属、はん用・生産用・業務用機械などとなっている。



【参考】島根県における令和2年の製造業の品目別トップ3 (R2経済センサス)

県内の品目別トップ3	一位	二位	三位
出荷額	固定コンデンサ (230,154百万円、全国1位)	普通合板 (31,798百万円、全国2位)	機械用鋳鉄铸件 (26,274百万円、全国3位)

※ 表彰されている品目中
 ※ パーソナルコンピュータ (H27は全国3位)、工具鋼 (H27は全国1位) も生産額が大きいですが、製造する事業所数が少ないため、紹介していない



みなさん、こんにちは。

島根県知事の丸山達也(まるやまたつや)

です。

実は私はIターン者です。福岡県に生まれ、東京をはじめ、全国各地で暮らしてきました。

そんな私が島根定住を決めたポイントは、島根の皆さんの人柄の温かさや島根の暮らしの豊かさです。

島根県人は、何事にも真面目で一生涯懸命、そして困っている人がいるとお互い助け合い、地域社会の絆を守り続けています。

島根の暮らしは、いわゆる職住近接で通勤時間は短く、育住近接で待機児童もほとんどいません。出生率も全国トップクラスで、子育てしやすい環境に恵まれています。

是非皆さんも、「チームしまね」の一員に加わってください。

「皆さんのお越しをお待ちしております」

島根県知事 丸山達也



島根創生 SHIMANE SOUSEI

笑顔あふれるしまね暮らし宣言

島根には、自然と歴史の中で営んできた、人々の豊かな暮らしがあります。

近所では、子どもたちが元気に走り回り、若者は恋愛をし、趣味を楽しみ、地域活動にも参加する。

家族を思い、やりがいのある仕事に就き、高齢になっても、元気で生きがいを感じている。皆で囲む食卓は笑い声に包まれ、穏やかで心地よい時間が流れる。

そんなごく普通の暮らしです。

地域の助け合いや絆が残る古き良き人間関係が、郷土愛と誇りを育み、人々の多様な関わりを通して生まれる新しい試みが、未来への希望を高め、暮らしをより豊かなものにしていきます。

この人間らしい、温もりのある暮らしを、ここで営み続けたい。未来の子どもたちへ、大切に贈り届けたい。日本中の多くの人へ、島根にしかない暮らしを知ってもらいたい。

「島根創生」の始まりにあたり、「笑顔あふれるしまね暮らし」を守り、育て、未来へつなげていくことを、ここに宣言します。



イメージ写真はこちら



Access

島根県へは飛行機でのアクセスも便利です。出雲緑結び空港、萩・石見空港、隠岐世界ジオパーク空港の県内3つの空港に加え、隣接する鳥取県の米子鬼太郎空港も松江市中心部まで車で約30分。国内各主要都市から定期便が就航しています。



島根県

島根県 政策企画局 政策企画室
〒690-8501 松江市殿町1番地
TEL: 0852-22-5093 / FAX: 0852-22-6034
E-mail: seisaku-kikaku@pref.shimane.lg.jp
URL: https://www.pref.shimane.lg.jp/

(2022年4月発行)

Invitation from Shimane pref.

しまねからの招待状



自分のサイズで、生きていい。

いいげん、島根県



The charm of Shimane pref.
ここにしかない
島根の魅力
をご紹介します。

都会の生活は便利で刺激的です。
でも反面、通勤ラッシュや住宅事情は
厳しいものがあります。
島根には、都会にはない魅力があります。
夕方には家族みんなで食卓を囲んで、
団らんを楽しむ、ごく普通の暮らしです。
あなたにとって、どちらが魅力的ですか？



Work **仕事**

自分らしく働きたい！
ワークライフバランスが大事！

あなたを必要としている、
あなたにピッタリの職場が
見つかります。
通勤時間が短く、
帰宅後はしっかり
リフレッシュできます。

通勤・通学時間

往復58分 短さ全国**2位**※1

他市区町村への通勤者

少なさ全国**1位**※2

仕事時間

5時間45分 短さ全国**5位**※1

帰宅時間

18:16 早さ全国**2位**※1

若者の就業率

全国**1位**※3

完全失業率

低さ全国**1位**※2



Life **暮らし**

自然の中でゆっくり過ごしたい！
広い家でゆったり住みたい！

くつろぎながら、
自分の生きがいのために
時間を使えます。
新鮮な食べ物や温泉も豊富で、
潤いのある暮らしが
満喫できます。

美肌ランキング

グランプリ獲得回数全国**1位**※4

睡眠時間

7時間53分 全国**5位**※1

住宅地価格

安さ全国**5位**※5

持ち家住宅の延べ面積

全国**7位**※2

ボランティア活動

全国**3位**※1

交通事故発生件数、死傷者数

(人口10万人当たり) 少なさ全国**1位**※2



Childcare **子育て**

結婚・出産しても働き続けたい！
子どもをのびのび育てたい！

仕事をしながら
「子どもをもう1人育てたい」という
希望もかなえやすい環境です。
自家用車を持ちやすく、
通勤途中に保育所の送り迎えも
できるので、雨の日でも快適です。

育児をしている女性の有業率

81.2% 全国**1位**※6

合計特殊出生率

1.60 全国**6位**※7

保育所待機児童数

1人※8

保育所数

(10万人あたり)

全国**2位**※2

児童クラブ数

(10万人あたり)

全国**2位**※9

軽自動車普及率(世帯あたり)

全国**4位**※10

一般診療所数(人口10万人当たり)

全国**2位**※2

※1: H28社会生活基本調査 ※2: 社会生活統計年報2022 ※3: H27国勢調査 ※4: 美肌風グラフィ(POLA) ※5: R3都道府県別調査 ※6: H29就業構造基本調査 ※7: R2人口動態統計 ※8: R3保育所待機児童数調査
※9: R3調査 ※10: R2総務省全国軽自動車普及率調査

データの出典

	統計名	実施者	URL	県の担当窓口
1	社会生活基本調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/shakai/2016/index.html	統計調査課
2	社会生活統計指標	総務省	http://www.stat.go.jp/data/ssds/index.html	統計調査課
3	国勢調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/kokusei/2015/index.html	統計調査課
4	美肌県グランプリ (POLA)	民間	https://www.pola.co.jp/special/bihadaken/	
5	都道府県地価調査	国交省	https://www.mlit.go.jp/totikensangyo/totikensangyo_fr4_000044.html	用地対策課
6	就業構造基本調査	総務省	http://www.stat.go.jp/data/shugyou/2017/index.html	統計調査課
7	人口動態統計	厚生労働省	https://www.mhlw.go.jp/toukei/list/81-1.html	健康福祉 総務課
8	保育所等利用待機 児童数調査	厚生労働省	https://www.pref.shimane.lg.jp/education/syoushika/kosodate/hoikusho/taikijidou.html	子ども・子 育て支援課
9	児童クラブ数	厚生労働省	https://www.pref.shimane.lg.jp/education/syoushika/kosodate/seido/houkagojidoukurabu.html	子ども・子 育て支援課
10	全国軽自動車協会 連合会	民間	https://www.zenkeijikyo.or.jp/statistics	

数字を用いることの効用

- 問題を分かりやすくすること
- 論理的に考えること
- 人に分かりやすく伝えること

- 数学は言葉と並んで、人間が人間であることを最も鮮明にあらわすものです。しかも文学や音楽と同じように、毎日毎日の努力を積み重ねてはじめて身につけることができます。
- 数学の本質は、そのときどきの状況を冷静に判断し、しかも全体の大きな流れを見失うことなく、論理的に、理性的に考えを進めることにあります。

宇沢弘文「好きになる数学入門」岩波書店 より
(米子出身の世界的経済学者)

「統計でみる都道府県のすがた2023」にみる島根県

	分野		項目	指標値	単位	年度	順位
A.	人口・世帯	1	総人口	67	万人	2021	46
		2	総人口(男)	32	万人	2021	46
		3	総人口(女)	34	万人	2021	46
		4	外国人人口 (人口10万人当たり)	1,226.3	人	2020	24
		5	全国総人口に占める 人口割合	0.53	%	2021	46
		6	総面積 1 km ² 当たり 人口密度	99.1	人	2021	43
		7	可住地面積 1 km ² 当たり 人口密度	523.2	人	2021	39
		8	昼夜間人口比率	100.1	%	2020	8
		9	人口集中地区人口比率 (対総人口)	25.6	%	2020	47
		10	15歳未満人口割合 (対総人口)	12.1	%	2021	¹³ 14

「統計でみる都道府県のすがた2023」にみる島根県

	分野		項目	指標値	単位	年度	順位
B	自然環境	49	年平均相対湿度	77	%	2021	1
D	行政基盤	130	教育費（人口1人当たり） （都道府県・市町村財政合計）	202.6	千円	2019	1
D	行政基盤	137	幼稚園費（児童1人当たり） （都道府県・市町村財政合計）	980.1	千円	2019	1
E	教育	155	公立幼稚園在園者比率 （対幼稚園在園者数）	87.7	%	2021	1
E	教育	170	各種学校数 （人口10万人当たり）	3.76	校	2021	1
G	文化・スポーツ	229	客室稼働率	55.7	%	2021	1
I	健康・医療	303	周産期死亡率 （死産数(妊娠22週以後) + 早期新生児死亡数） ÷ 出生数 + 死産数(妊娠22週以後） （(出生数 + 死産数(妊娠22週以後)千当たり））	5.3	—	2020	1
I	健康・医療	333	救急自動車数 （人口10万人当たり）	11.7	台	2021	1
J	福祉・社会保障	348	介護老人福祉施設数 （65歳以上人口10万人当たり）	40.8	所	2020	1

※ 島根県が全国トップの項目

2. 島根県の人口 (国勢調査から分かること)

- (1) 島根県の人口と年齢構成
- (2) 少子高齢化から見る島根県の位置づけ

【国勢調査とは】

わが国の人口・世帯の実態を明らかにするため、5年に1度行われる、国の最も重要な統計調査。国内に住むすべての人と世帯が対象。

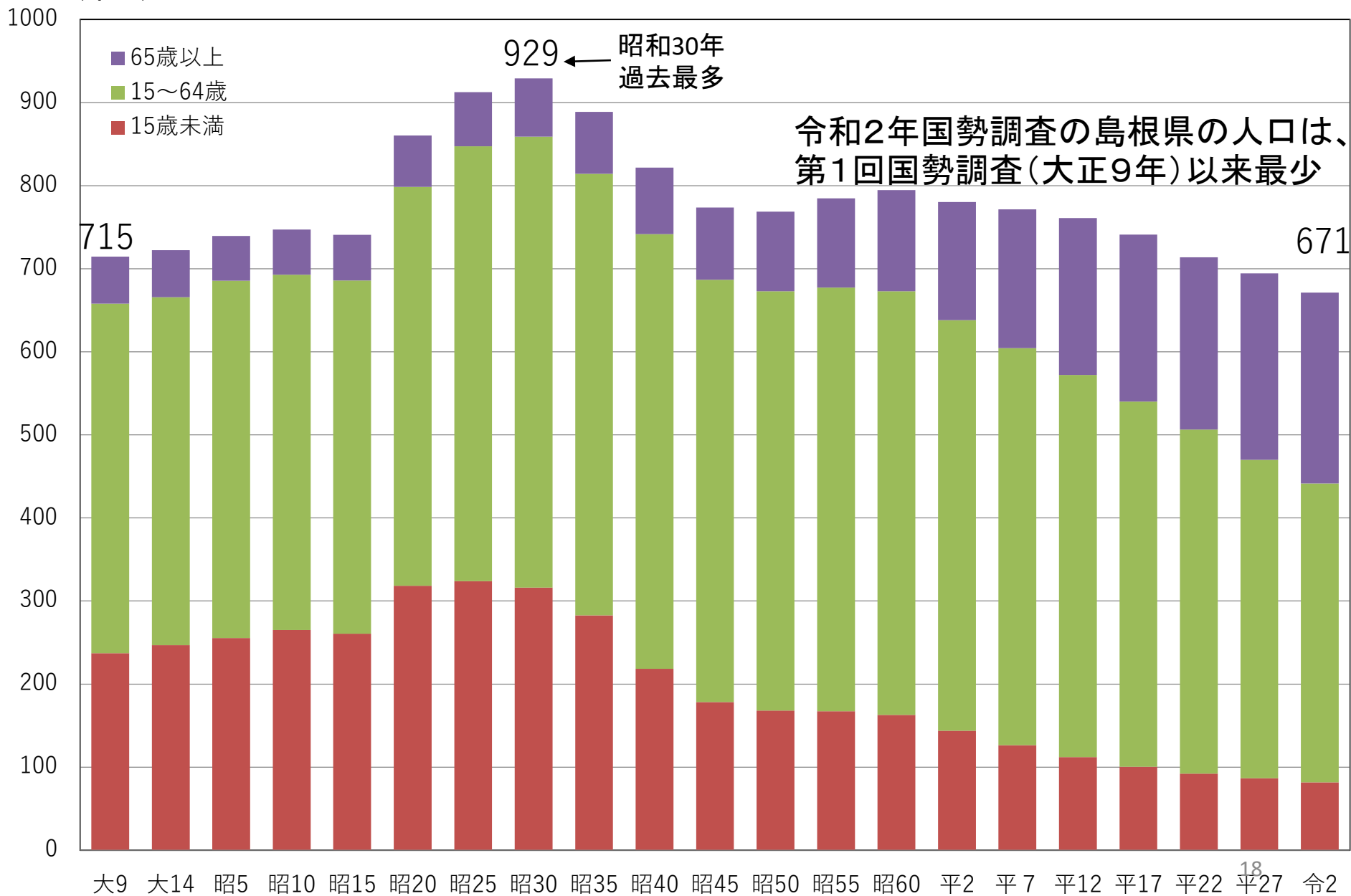
1. 島根県の人口と年齢構成

		総数	人口増減率	15歳未満	15～64歳	65歳以上
R2	人口	671,126人	▲3.3%	81,837人	359,735人	229,554人
	構成割合	100%	-	12.2%	53.6%	34.2%
	全国順位	46位	32位	16位	46位	4位
H27	人口	694,352人	▲3.2%	86,763人	383,287人	224,302人
	構成割合	100%	-	12.5%	55.2%	32.3%
	全国順位	46位	35位	27位	47位	3位

- 令和2年国勢調査における島根県の総人口は**671,126人**
 - 第1回国勢調査（大正9年）以来最少
 - 全国順位は、人口総数は**46位**、人口増減率は**32位**
 - 15歳未満人口は**81,837人**で**4,926人**の減少、65歳以上人口は**229,554人**で**5,252人**の増加
 - 人口構成割合は、15歳未満人口は**12.2%**で**0.3ポイント**の低下、65歳以上人口は**34.2%**で**1.9ポイント**の上昇
- 少子高齢化は進んでいるが、
年齢3区分人口割合の全国順位は、
15歳未満人口割合は**27位**から**16位**に上昇
65歳以上人口割合は**3位**から**4位**に低下

(1) 国勢調査による島根県人口の推移

(千人)

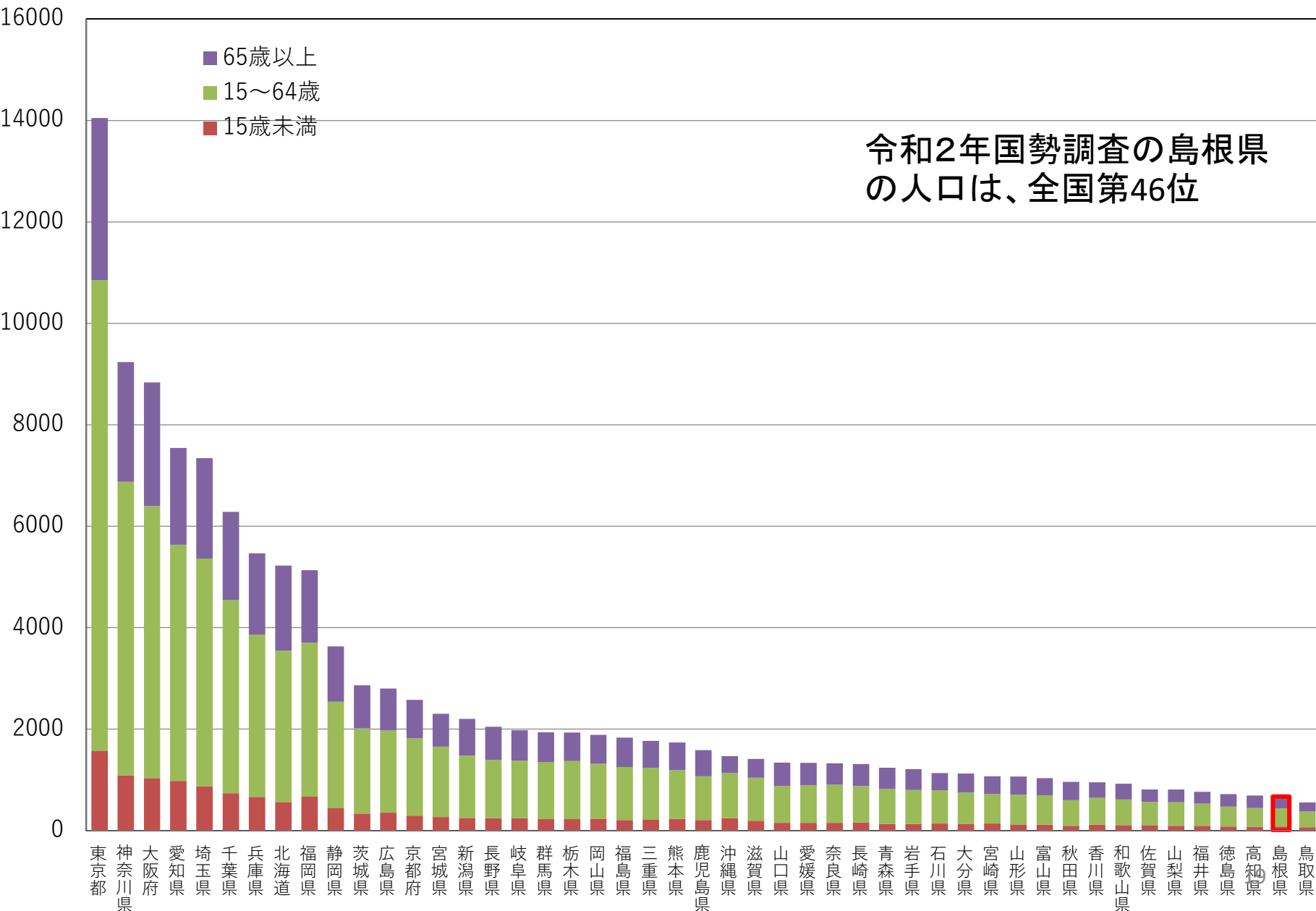


(2) 都道府県別の人口（令和2年国勢調査）

(千人)

- 65歳以上
- 15～64歳
- 15歳未満

令和2年国勢調査の島根県の人口は、全国第46位



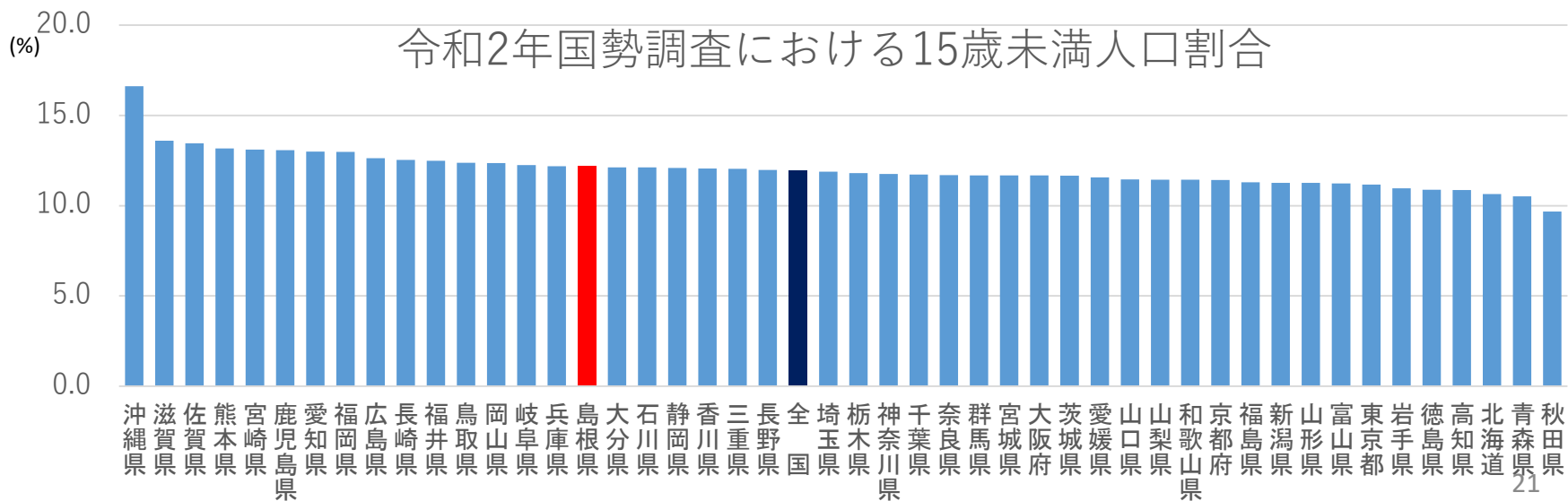
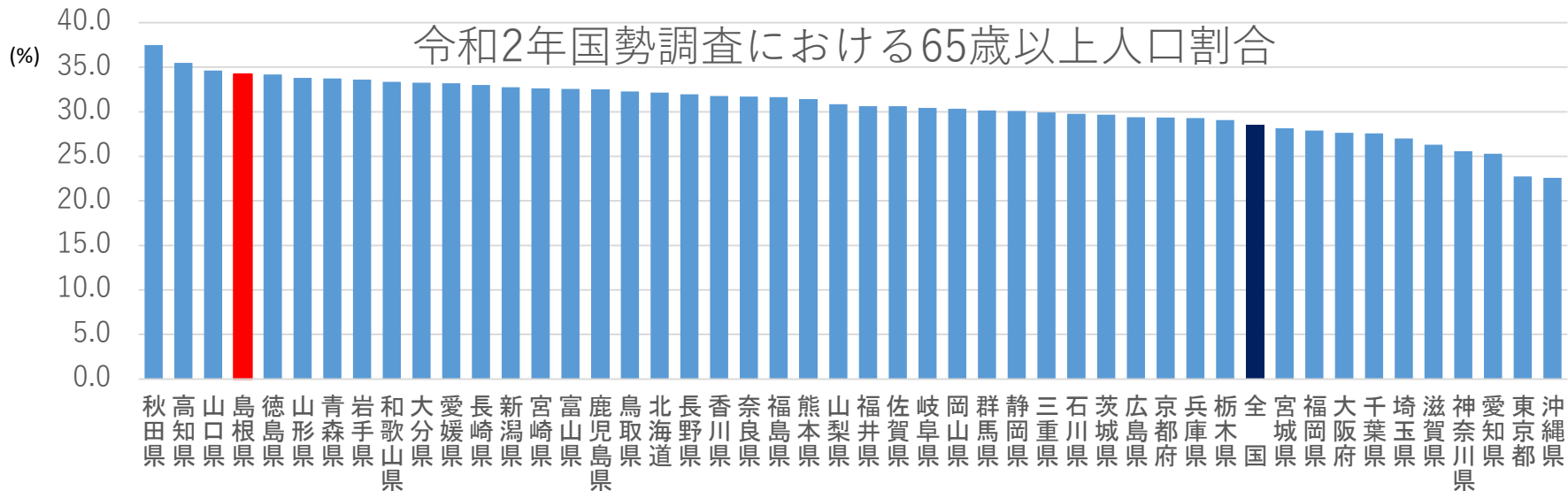
(参考)都道府県別の年齢3区分別人口・割合

都道府県	人口		人口増減率		年齢(3区分)人口								
	令和2年		平成27年 ～令和2年		15歳未満 (人)	割合		15～64歳 (人)	割合		65歳以上 (人)	割合	
	(人)	順位	(%)	順位		(%)	順位		(%)	順位		(%)	順位
全 国	126,146,099		-0.7		15,031,602	11.9		75,087,865	59.5		36,026,632	28.6	
北海道	5,224,614	8	-2.9	27	556,526	10.7	45	2,988,800	57.2	23	1,679,288	32.1	18
青森県	1,237,984	31	-5.4	45	130,259	10.5	46	689,910	55.7	32	417,815	33.7	7
岩手県	1,210,534	32	-5.4	46	132,735	11.0	42	670,784	55.4	33	407,015	33.6	8
宮城県	2,301,996	14	-1.4	12	268,931	11.7	29	1,385,425	60.2	8	647,640	28.1	38
秋田県	959,502	38	-6.2	47	92,855	9.7	47	506,960	52.8	47	359,687	37.5	1
山形県	1,068,027	36	-5.0	43	120,271	11.3	39	586,578	54.9	39	361,178	33.8	6
福島県	1,833,152	21	-4.2	37	206,993	11.3	37	1,045,887	57.1	24	580,272	31.7	22
茨城県	2,867,009	11	-1.7	14	334,614	11.7	31	1,681,662	58.7	13	850,733	29.7	33
栃木県	1,933,146	19	-2.1	19	228,224	11.8	24	1,142,706	59.1	11	562,216	29.1	37
群馬県	1,939,110	18	-1.7	16	226,573	11.7	28	1,127,799	58.2	15	584,738	30.2	29
埼玉県	7,344,765	5	1.1	4	872,859	11.9	23	4,488,130	61.1	4	1,983,776	27.0	42
千葉県	6,284,480	6	1.0	5	736,623	11.7	26	3,813,987	60.7	6	1,733,870	27.6	41
東京都	14,047,594	1	3.9	1	1,568,415	11.2	41	9,284,428	66.1	1	3,194,751	22.7	46
神奈川県	9,237,337	2	1.2	3	1,086,468	11.8	25	5,790,049	62.7	2	2,360,820	25.6	44
新潟県	2,201,272	15	-4.5	40	247,924	11.3	38	1,232,070	56.0	30	721,278	32.8	13
富山県	1,034,814	37	-3.0	29	116,346	11.2	40	581,617	56.2	27	336,851	32.6	15
石川県	1,132,526	33	-1.9	18	137,365	12.1	18	657,990	58.1	16	337,171	29.8	32
福井県	766,863	43	-2.5	22	95,809	12.5	11	436,121	56.9	25	234,933	30.6	25
山梨県	809,974	42	-3.0	30	92,723	11.4	34	467,443	57.7	20	249,808	30.8	24
長野県	2,048,011	16	-2.4	20	245,285	12.0	22	1,148,164	56.1	29	654,562	32.0	19
岐阜県	1,978,742	17	-2.6	24	242,504	12.3	14	1,133,872	57.3	22	602,366	30.4	27
静岡県	3,633,202	10	-1.8	17	439,490	12.1	19	2,100,962	57.8	19	1,092,750	30.1	30
愛知県	7,542,415	4	0.8	6	980,388	13.0	7	4,654,635	61.7	3	1,907,392	25.3	45
三重県	1,770,254	22	-2.5	21	213,373	12.1	21	1,027,332	58.0	17	529,549	29.9	31
滋賀県	1,413,610	26	0.0	8	192,256	13.6	2	849,686	60.1	9	371,668	26.3	43
京都府	2,578,087	13	-1.2	10	294,399	11.4	36	1,527,284	59.2	10	756,404	29.3	35
大阪府	8,837,685	3	0.0	9	1,032,375	11.7	30	5,363,326	60.7	7	2,441,984	27.6	40
兵庫県	5,465,002	7	-1.3	11	666,511	12.2	15	3,197,092	58.5	14	1,601,399	29.3	36
奈良県	1,324,473	29	-2.9	28	154,836	11.7	27	749,514	56.6	26	420,123	31.7	21
和歌山県	922,584	40	-4.3	38	105,598	11.4	35	509,212	55.2	37	307,774	33.4	9
鳥取県	553,407	47	-3.5	33	68,542	12.4	12	306,288	55.3	35	178,577	32.3	17
島根県	671,126	46	-3.3	32	81,837	12.2	16	359,735	53.6	46	229,554	34.2	4
岡山県	1,888,432	20	-1.7	15	233,416	12.4	13	1,082,126	57.3	21	572,890	30.3	28
広島県	2,799,702	12	-1.6	13	353,792	12.6	9	1,622,812	58.0	18	823,098	29.4	34
山口県	1,342,059	27	-4.5	39	153,838	11.5	33	723,588	53.9	44	464,633	34.6	3
徳島県	719,559	44	-4.8	42	78,361	10.9	43	395,215	54.9	38	245,983	34.2	5
香川県	950,244	39	-2.7	25	114,662	12.1	20	533,564	56.2	28	302,018	31.8	20
愛媛県	1,334,841	28	-3.6	35	154,420	11.6	32	737,231	55.2	36	443,190	33.2	11
高知県	691,527	45	-5.0	44	75,171	10.9	44	370,997	53.6	45	245,359	35.5	2
福岡県	5,135,214	9	0.7	7	667,107	13.0	8	3,035,328	59.1	12	1,432,779	27.9	39
佐賀県	811,442	41	-2.6	23	109,174	13.5	3	453,697	55.9	31	248,571	30.6	26
長崎県	1,312,317	30	-4.7	41	164,573	12.5	10	714,726	54.5	41	433,018	33.0	12
熊本県	1,738,301	23	-2.7	26	229,016	13.2	4	963,053	55.4	34	546,232	31.4	23
大分県	1,123,852	34	-3.6	36	136,329	12.1	17	613,637	54.6	40	373,886	33.3	10
宮崎県	1,069,576	35	-3.1	31	140,291	13.1	5	580,412	54.3	43	348,873	32.6	14
鹿児島県	1,588,256	24	-3.6	34	207,602	13.1	6	863,898	54.4	42	516,756	32.5	16
沖縄県	1,467,480	25	2.4	2	243,943	16.6	1	892,133	60.8	5	331,404	22.6	47

注) 不詳補完値による。

2. 少子高齢化から見る島根県の位置づけ

島根県は、もはや少子高齢化のトップランナーではない。



(1) 年齢3区分別人口構成割合、順位及び人口減少率の状況

島根県の少子高齢化は進んでいるものの、そのスピードは、全国平均より緩やかになっている。

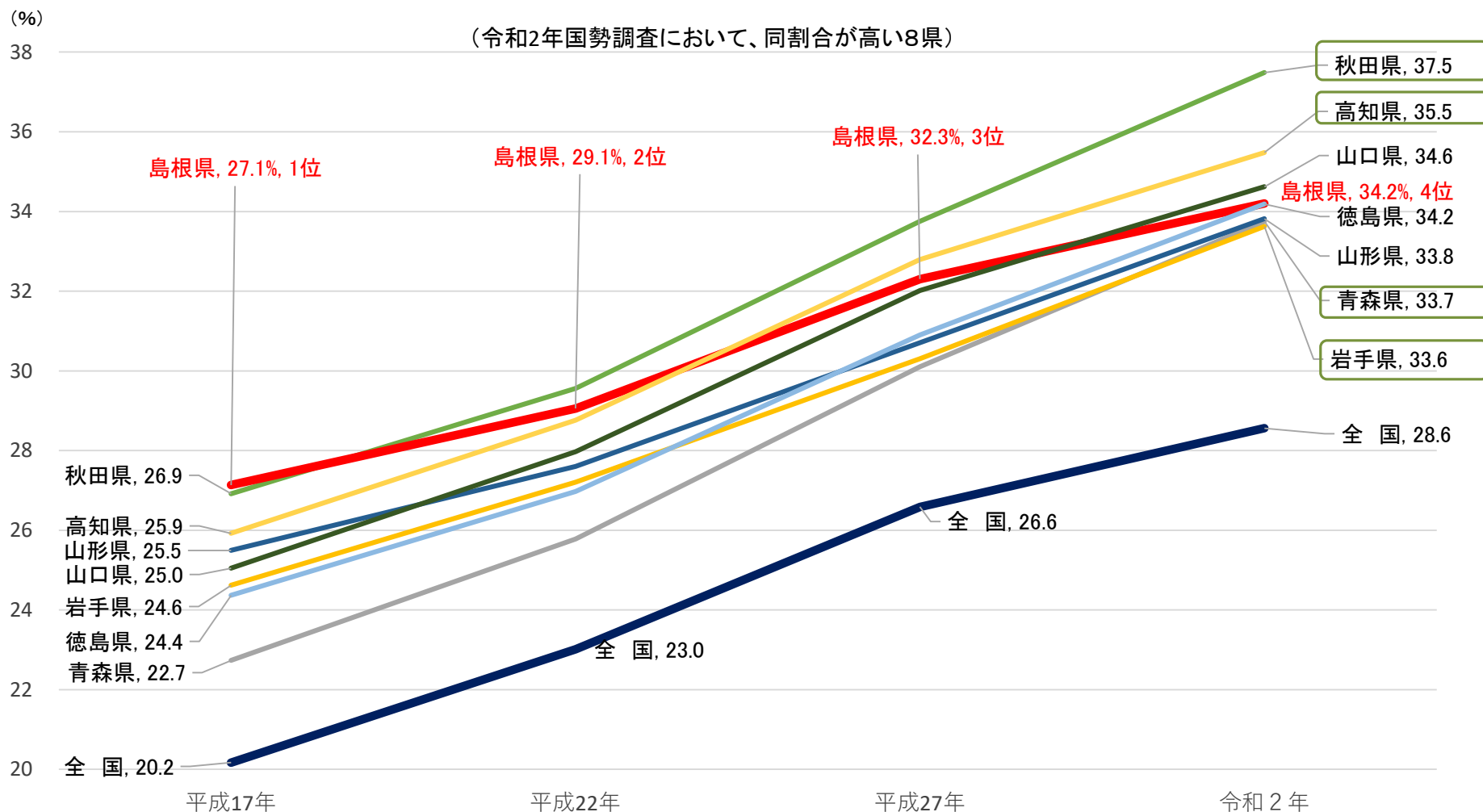
区分	年	構成割合			人口増減率		
		島根県	全国	島根県順位	島根県	全国	島根県-全国 (ポイント)
15歳未満 人口	H17	13.6%	13.8%	38位	▲ 10.2%	▲ 5.1%	▲ 5.1
	H22	12.9%	13.2%	35位	▲ 8.3%	▲ 4.1%	▲ 4.2
	H27	12.5%	12.6%	27位	▲ 5.9%	▲ 5.1%	▲ 0.8
	R2	12.2%	11.9%	16位	▲ 5.7%	▲ 5.8%	0.1
15～64歳 人口	H17	59.3%	66.1%	47位	▲ 4.5%	▲ 2.5%	▲ 2.0
	H22	58.0%	63.8%	47位	▲ 5.8%	▲ 3.6%	▲ 2.2
	H27	55.2%	60.9%	47位	▲ 7.5%	▲ 4.5%	▲ 3.0
	R2	53.6%	59.5%	46位	▲ 6.1%	▲ 2.9%	▲ 3.2
65歳以上 人口	H17	27.1%	20.2%	1位	6.4%	16.7%	▲ 10.3
	H22	29.1%	23.0%	2位	3.1%	13.9%	▲ 10.8
	H27	32.3%	26.6%	3位	8.2%	15.5%	▲ 7.3
	R2	34.2%	28.6%	4位	2.3%	6.6%	▲ 4.3

平成17年以降の年齢3区分別の人口に着目すると、

- 15歳未満人口は、構成割合は低下しているが、順位は上昇している。減少率は低下し、R2は全国よりも緩やかな減少になった。
- 65歳以上人口は、構成割合は上昇しているが、順位は低下している。増加率は低下し、R2は全国よりも緩やかな増加になった。

(2) 他県との比較①(65歳以上人口割合の推移)

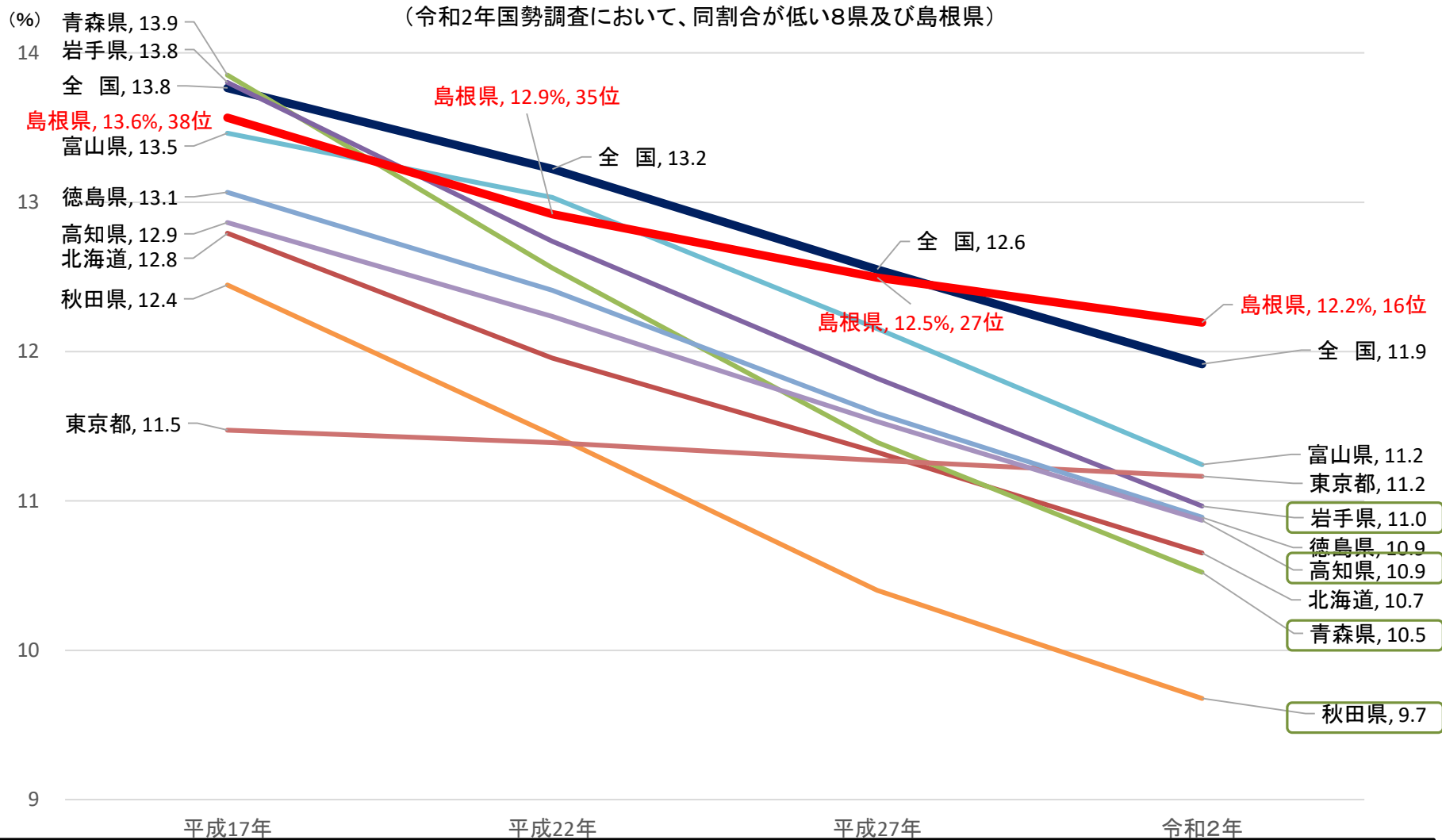
資料: 国勢調査



- 島根県は、H17の27.1%からR2の34.2%に7.1ポイント上昇
- 全国は、H17の20.2%からR2の28.6%に8.4ポイント上昇
- 65歳以上人口割合の上昇は全国平均よりも緩やかで、65歳以上人口割合の全国順位はH17の1位からR2の4位に低下

(2) 他県との比較②(15歳未満人口割合の推移)

資料: 国勢調査



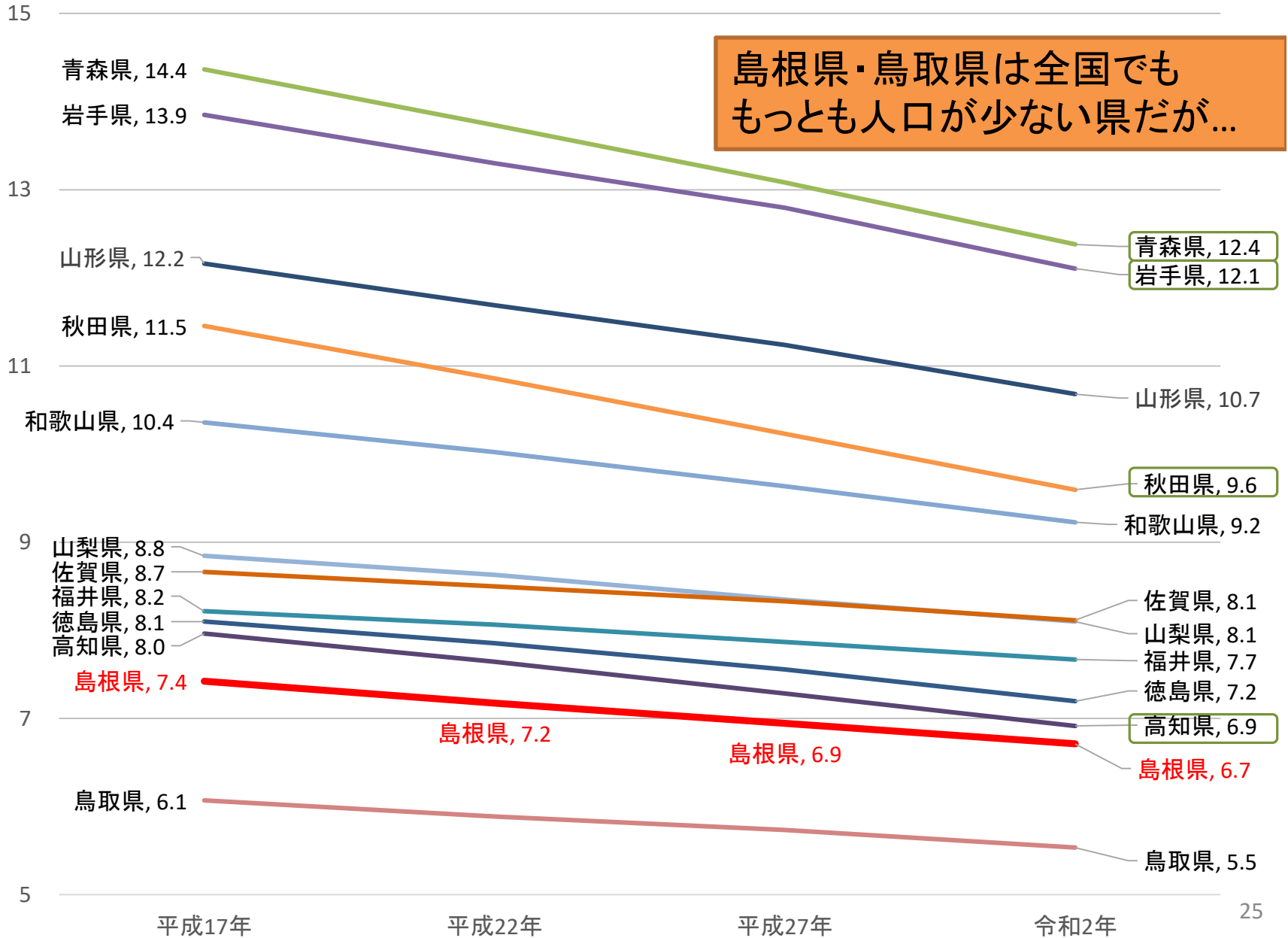
- 島根県は、H17の13.6%からR2の12.2%に1.4ポイント低下
- 全国は、H17の13.8%からR2の11.9%に1.9ポイント低下
- 15歳未満人口割合は全国平均を上回り、全国順位はH17の38位からR2の16位[過去最高]に上昇

(2) 他県との比較③(総人口の推移)

資料: 国勢調査

(令和2年国勢調査において人口が少ない8県及び人口減少率が高い青森県、岩手県、秋田県、山形県)

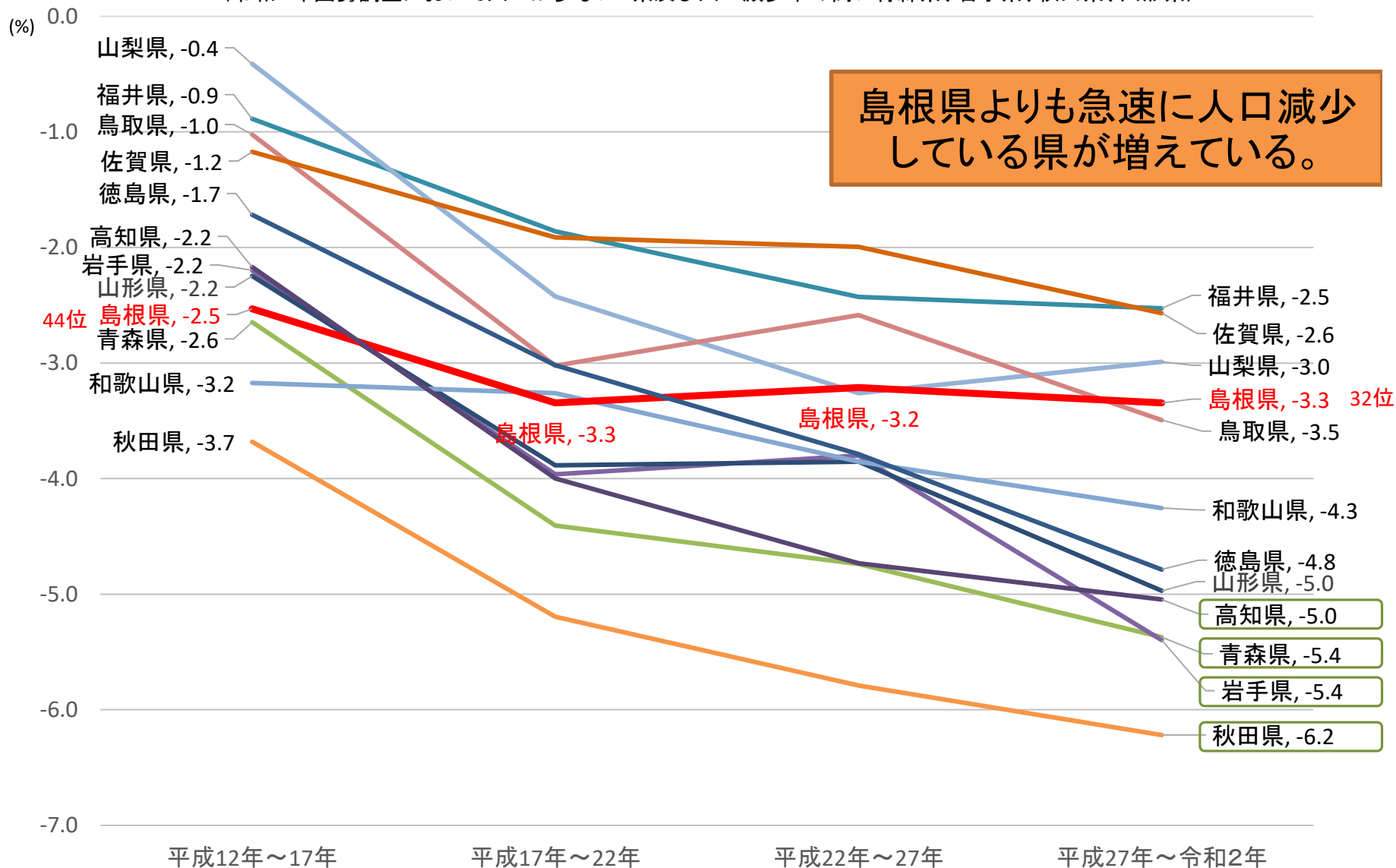
(10万人)



(2) 他県との比較④(人口減少率の推移)

(令和2年国勢調査において人口が少ない8県及び人口減少率の高い青森県、岩手県、秋田県、山形県)

資料: 国勢調査

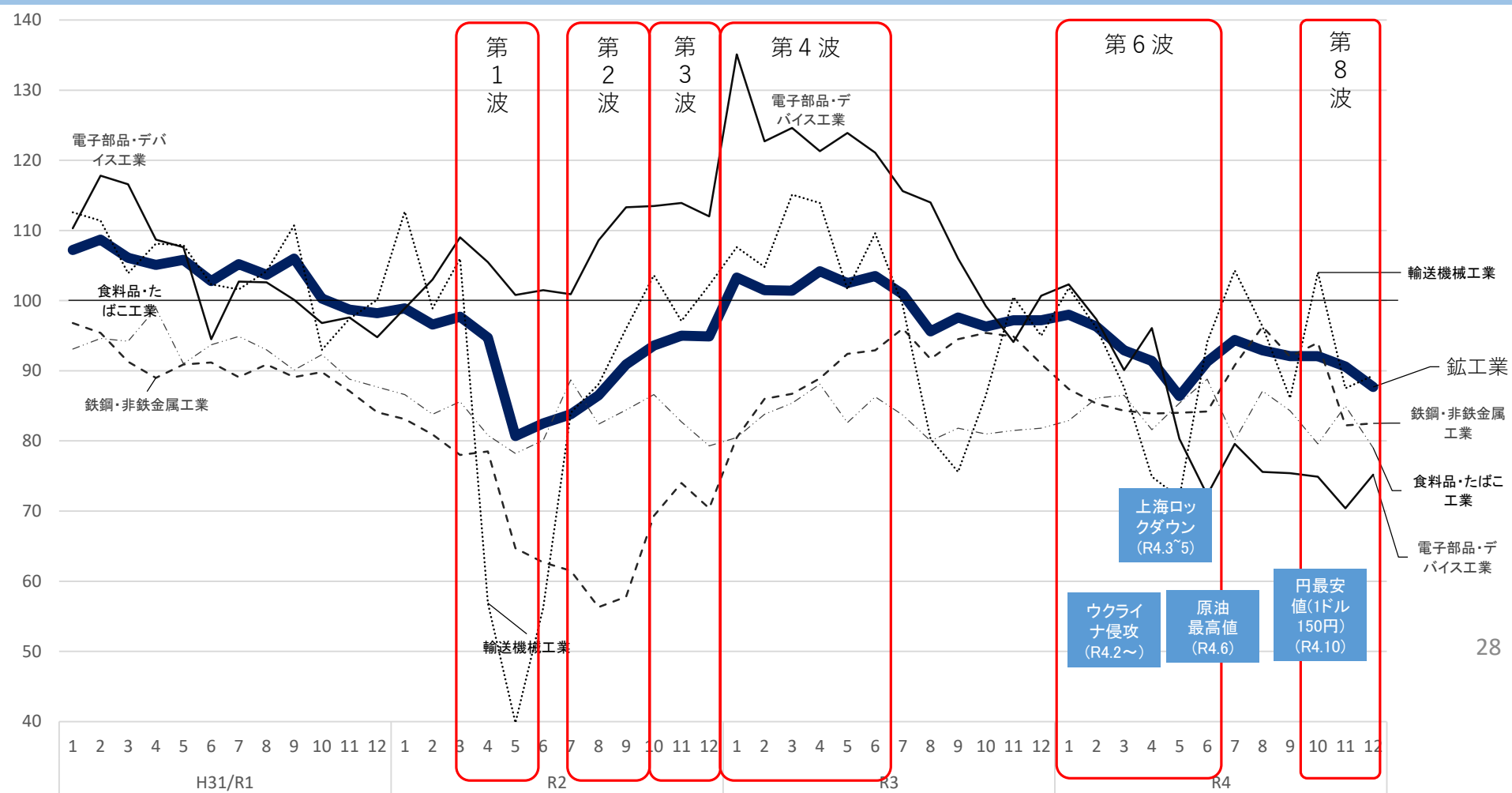


人口減少率が高い秋田県、岩手県、青森県、高知県の4県は、15歳未満人口割合の低さも、65歳以上人口割合の高さも全国上位

3.統計データで見る最近の社会経済の動き

	要旨	着目する統計指標
2-1 事業者から見た動き (生産、雇用を中心に)	<ul style="list-style-type: none"> 一般的に、景気が上向くと、生産、労働時間は増え、賃金も上がり、雇用が増える 実際はどのように推移したかを、生産や雇用に関する統計指標を中心に、コロナや物価高などの影響とあわせて概観する 	<ol style="list-style-type: none"> 1 鉱工業生産指数 2 有効求人倍率 (島根労働局) 3 毎月勤労統計「常用雇用指数」「所定外労働時間指数」 4 企業物価指数 (日銀)、消費者物価指数
2-2 生活者から見た動き (個人消費を中心に)	<ul style="list-style-type: none"> 一般的には、経済状況が上向くと、消費活動が盛んになる 実際はどのように推移したかを、個人消費や賃金に関する統計指標を中心に、コロナや物価高などの影響とあわせて概観する 	<ol style="list-style-type: none"> 1 出雲空港利用者数 (島根県港湾空港課) 2 島根県月別主要観光施設等動向 (島根県観光振興課) 3 商業6業態販売額 (商業動態統計、経済産業省) 4 消費者物価指数 5 毎月勤労統計「きまって支給する給与」
2-3 全体の動き	<ul style="list-style-type: none"> 紹介してきた統計などから作られる「景気動向指数 (一致指数)」を参考に、島根県経済の現状を確認する 	<ol style="list-style-type: none"> 1 景気動向指数 (一致指数)

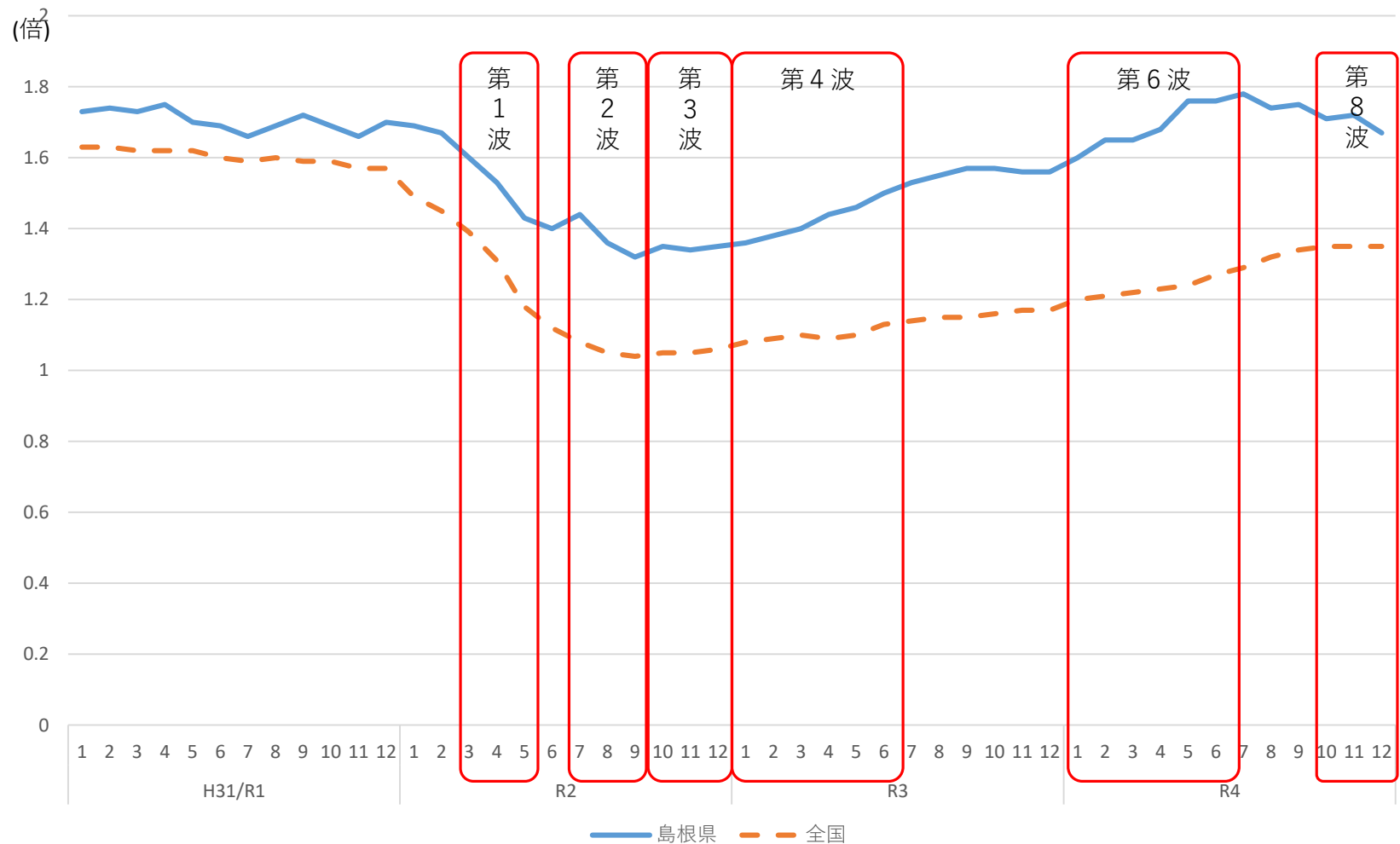
3-1-1 島根県鉱工業生産指数(季節調整済)【H27=100】



- コロナ第1波で、生産活動は、輸送機械工業などを中心に大きく低下。
- R3.1にはコロナ前の水準まで回復。特に電子部品・デバイス工業が大きく牽引
- R3.9以降停滞。R4.6~7は上昇したが、R4.8以降再び低下。特に、電子部品・デバイス工業の生産はR3.1をピークに大きく低下

※ 県内の主な製造業の生産量の動きを指標にしたもの。付加価値額ウェイトが高い4産業を取り上げた

3-1-2 有効求人倍率

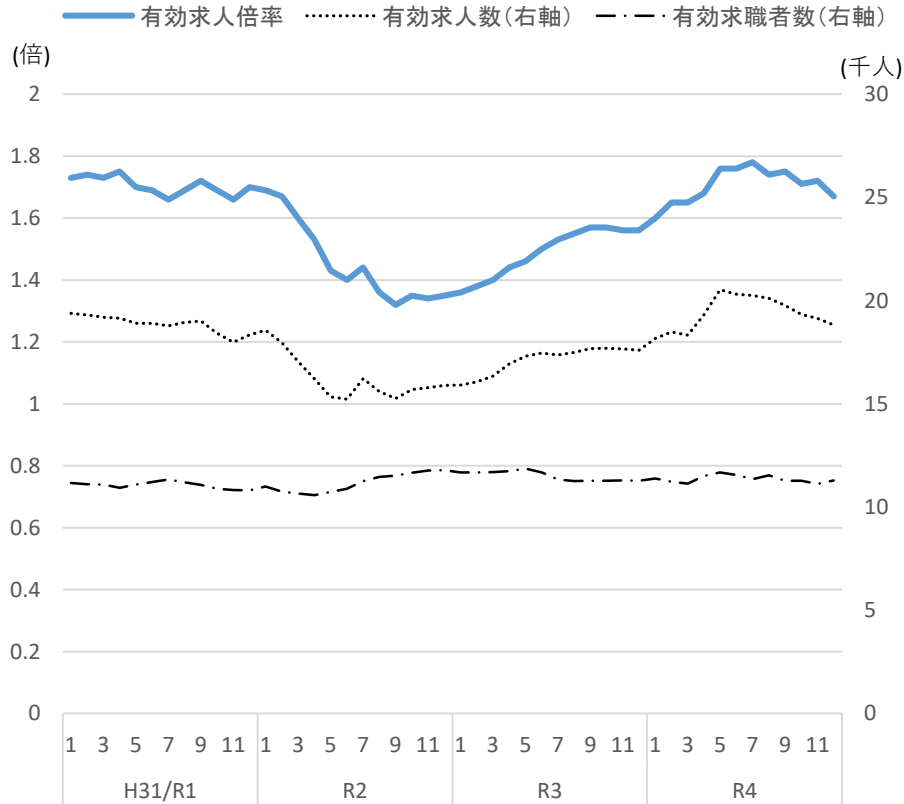


- 島根県の求人は高い水準で好調が続いている(R2.7~R3.9は全国3位、R3.10以降全国2位)

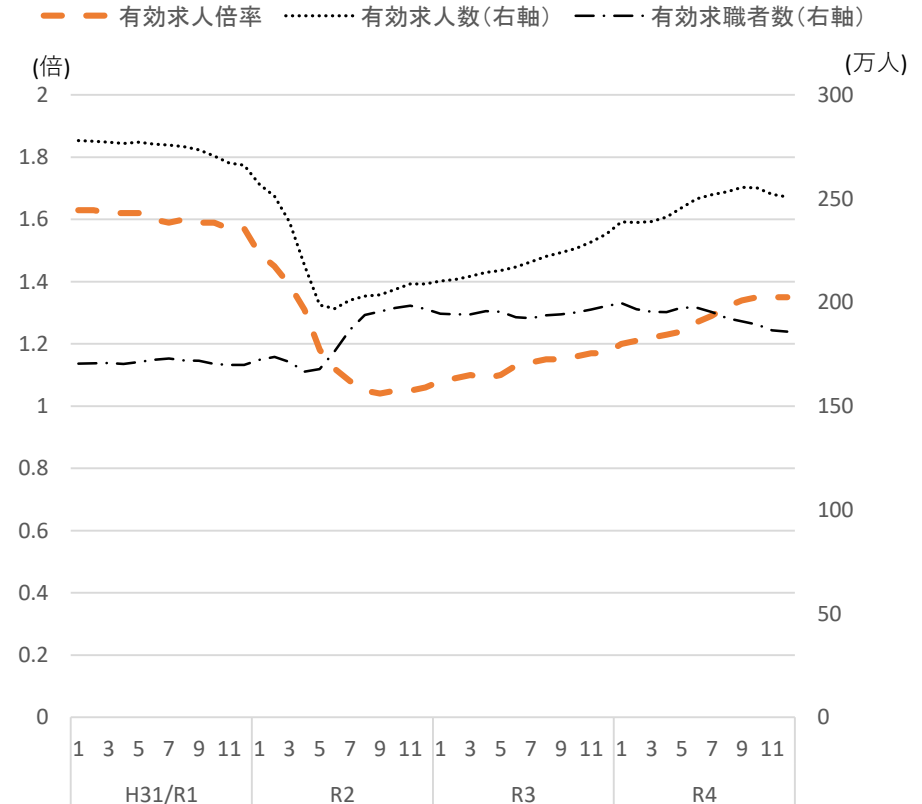
3-1-2 有効求人倍率②

有効求人倍率、有効求人数、有効求職者数の動き（島根県、全国）

島根県



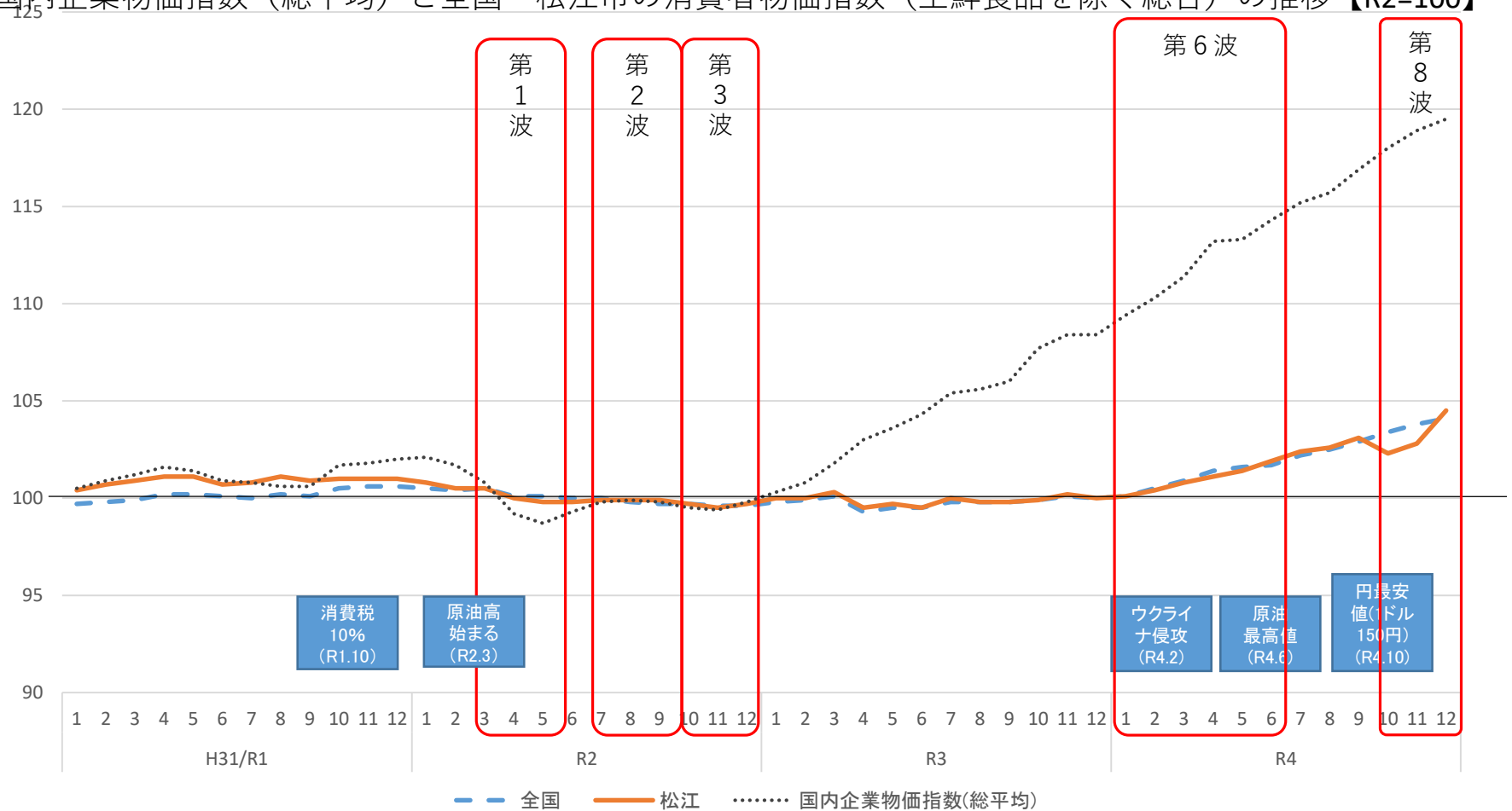
全国



- 一般的に有効求人倍率は、求人数が増えると雇用されて求職数が減り、求人数が減ると求職者が増える
- 島根県の有効求人倍率は、令和2年9月以降上昇しているが、求職数がほとんど変わらないために、求人数の動きがそのまま求人倍率の動きになっており、景気よりも人手不足の影響が大きいことがうかがえる

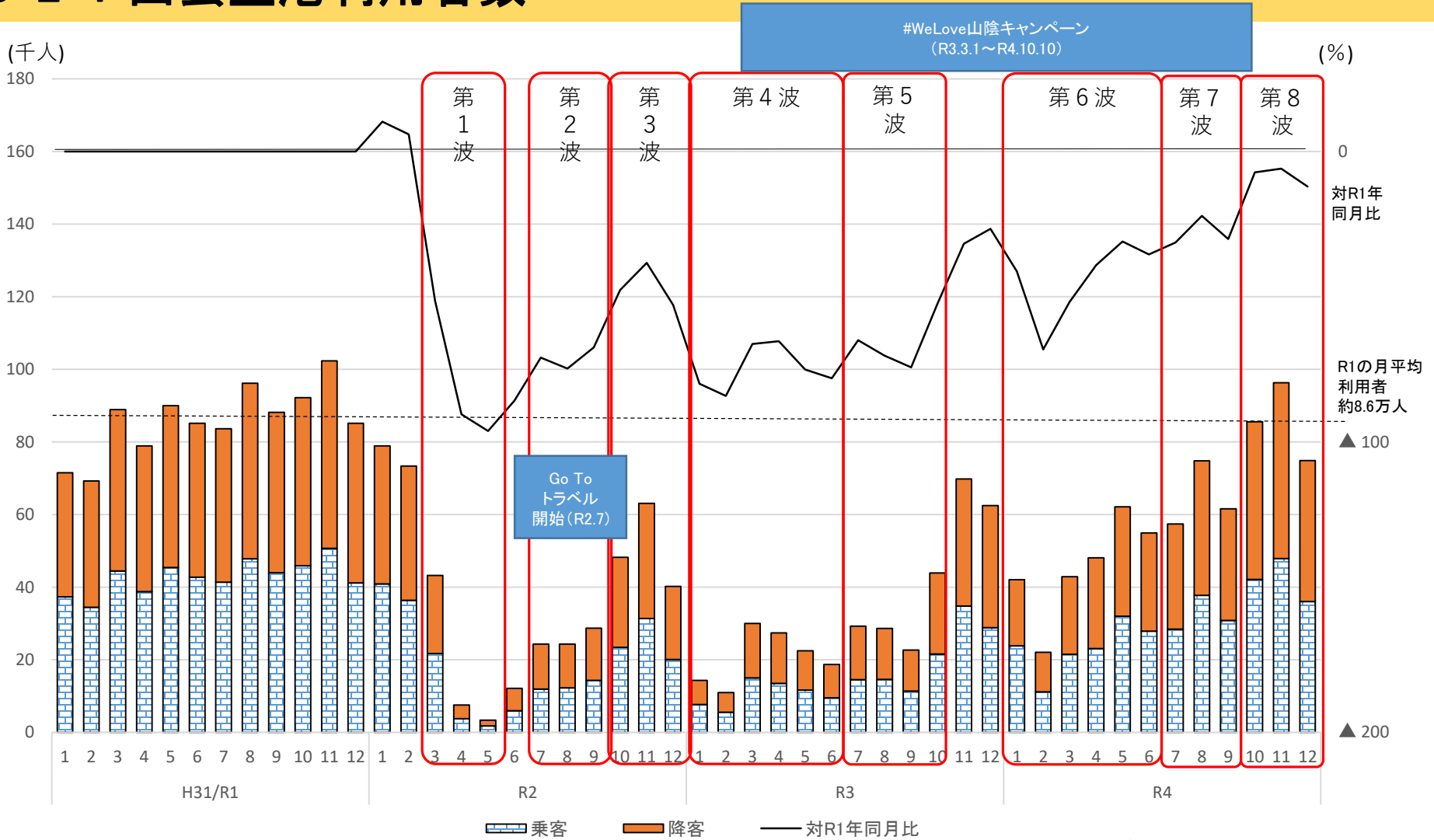
3-1-4 企業物価指数と消費者物価指数

国内企業物価指数（総平均）と全国・松江市の消費者物価指数（生鮮食品を除く総合）の推移【R2=100】



- 企業物価指数はR3.1ごろから上昇
中でも、木材・木製品、石油・石炭製品、鉄鋼、非鉄金属が早くから上昇した
- 消費者物価指数はR4.1から上昇
R3までは企業が被っていた上昇分が、R4から消費者物価に転嫁され始めたものの、企業物価指数との差は一層拡大

3-2-1 出雲空港利用者数

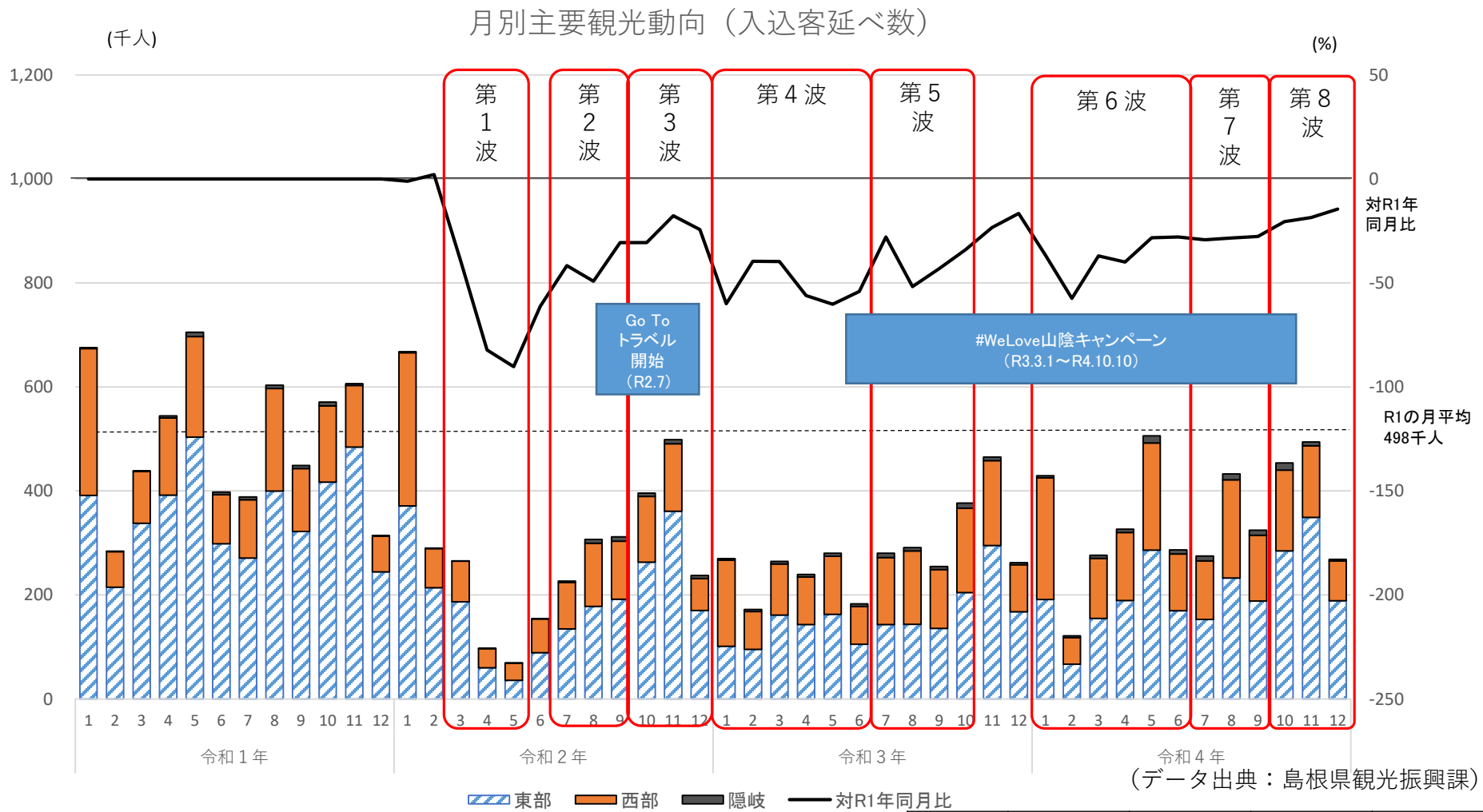


- コロナ前のR1と比べると、R2~3は4割前後にまで落ち込んだが、その後回復し、R4年合計は7割ほどになった
- 月ごとにみると、令和4年10月には利用者数が8万人を超えるなど、コロナ前の水準に戻ってきている

(データ出典：島根県港湾空港課)

出雲利用者数			
R1合計	R2合計	R3合計	R4合計
1,031,425	447,367	380,588	722,737

3-2-2 島根県月別主要観光施設等動向

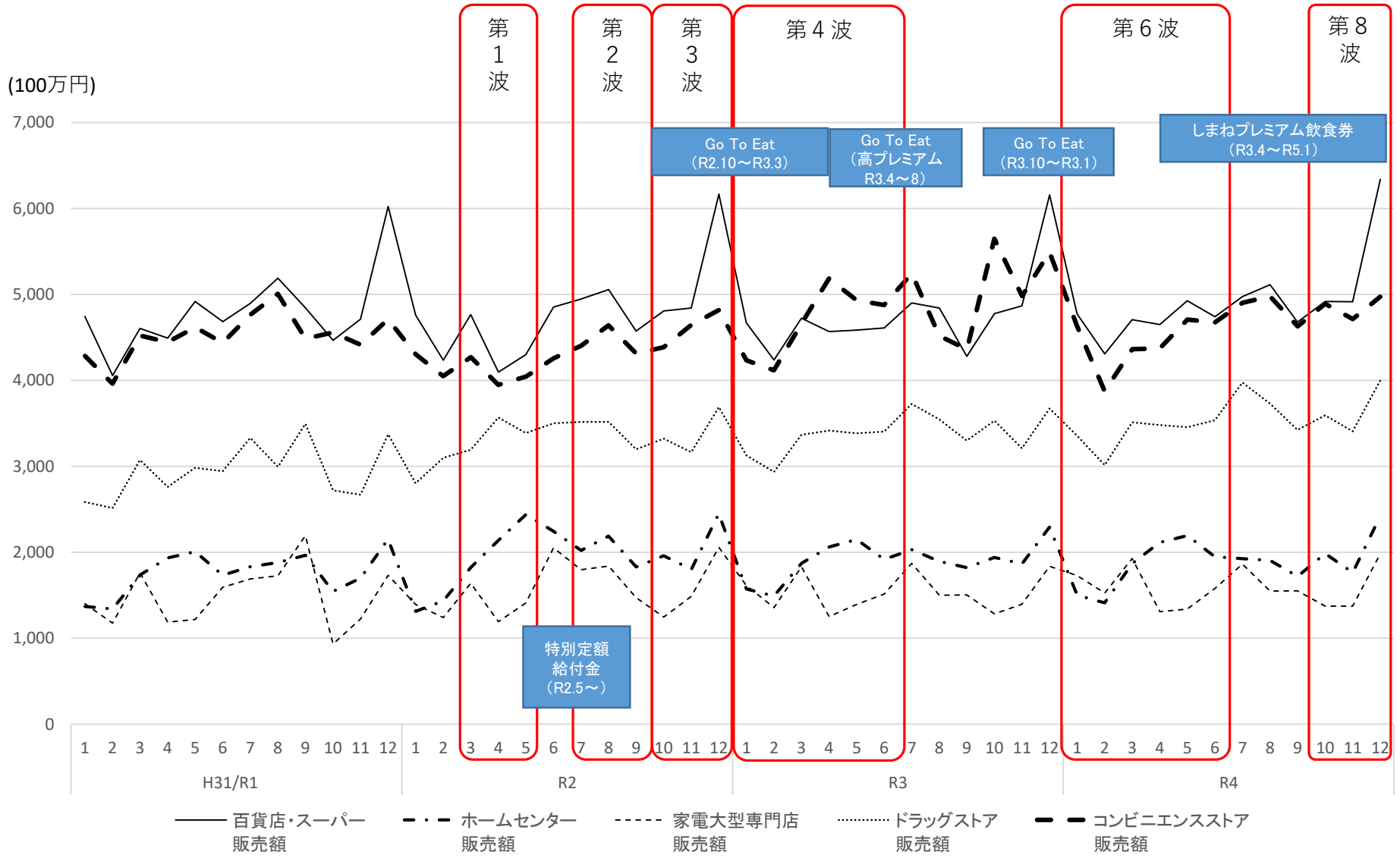


- 入込客延べ数をコロナ前のR1と比べると、R2,R3はコロナ前の6割弱、R4も7割程度
- R4の入込客延べ数は、西部ではコロナ前の水準に、隠岐ではコロナ前の倍近くとなっている

※ 島根県内の主要観光施設（計26施設）の入込客延べ数を地域ごとに集計

入込客延べ数	R1	R2	R3	R4
東部	4,275,180	2,254,295	1,857,497	2,453,574
西部	1,652,129	1,224,427	1,412,169	1,645,311
隠岐	50,690	41,888	68,691	94,786
全県	5,977,999	3,520,610	3,338,357	4,193,671

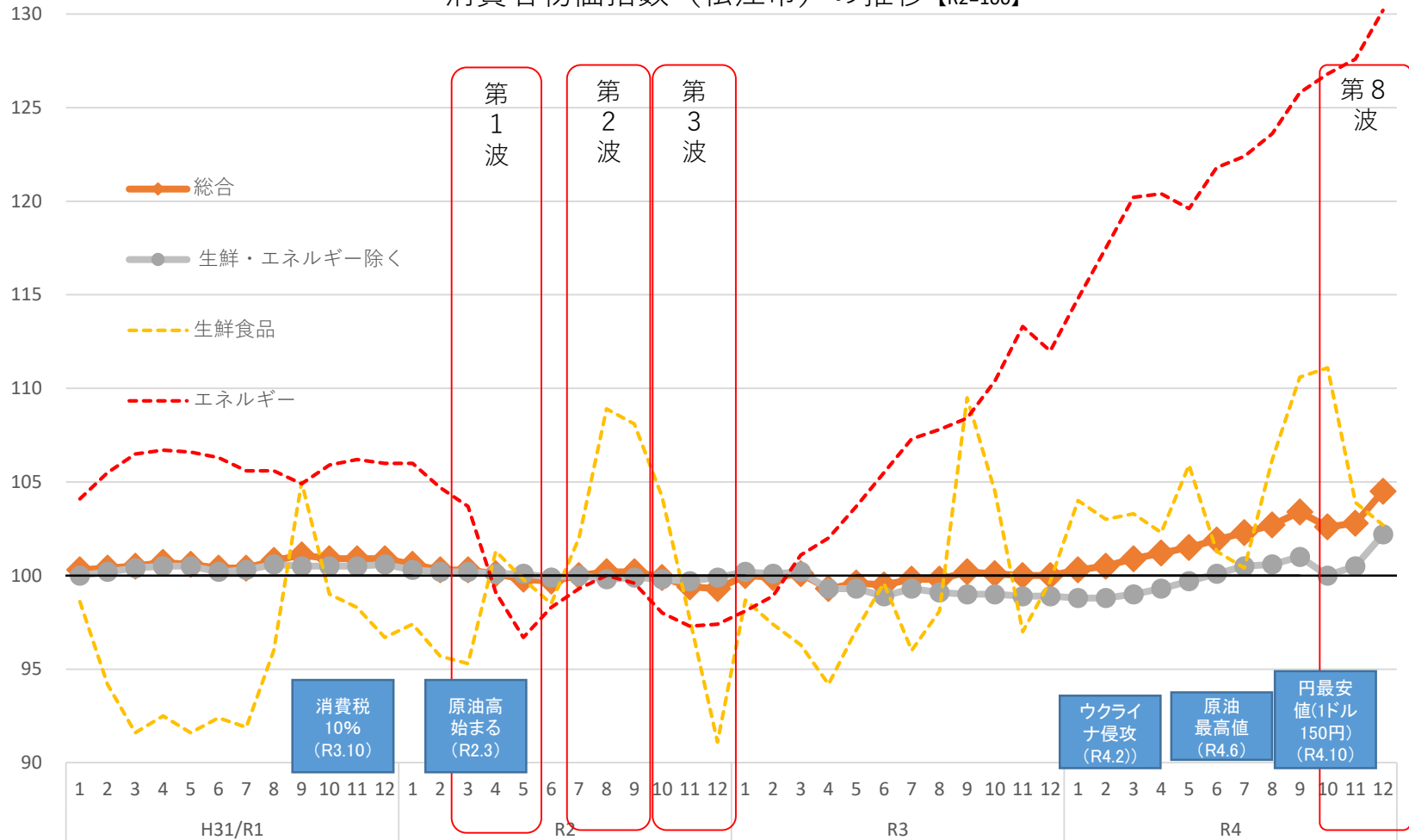
3-2-3 商業6業態販売額



- 令和2年以降、商業6業態販売額の年間合計は増加傾向 (データ出典：経済産業省)
- R2は、ホームセンターやドラッグストアが、新型コロナウイルス感染症対策の影響で好調となり、年間では前年より10%以上増加
- R3は、コンビニエンスストアが、Go To Eat食事券の販売などで好調となり、年間では前年より2.9%増加
- R4は、ドラッグストアや家電大型販売店が好調となり、年間では前年より4%以上増加

3-2-4 消費者物価指数

消費者物価指数（松江市）の推移【R2=100】



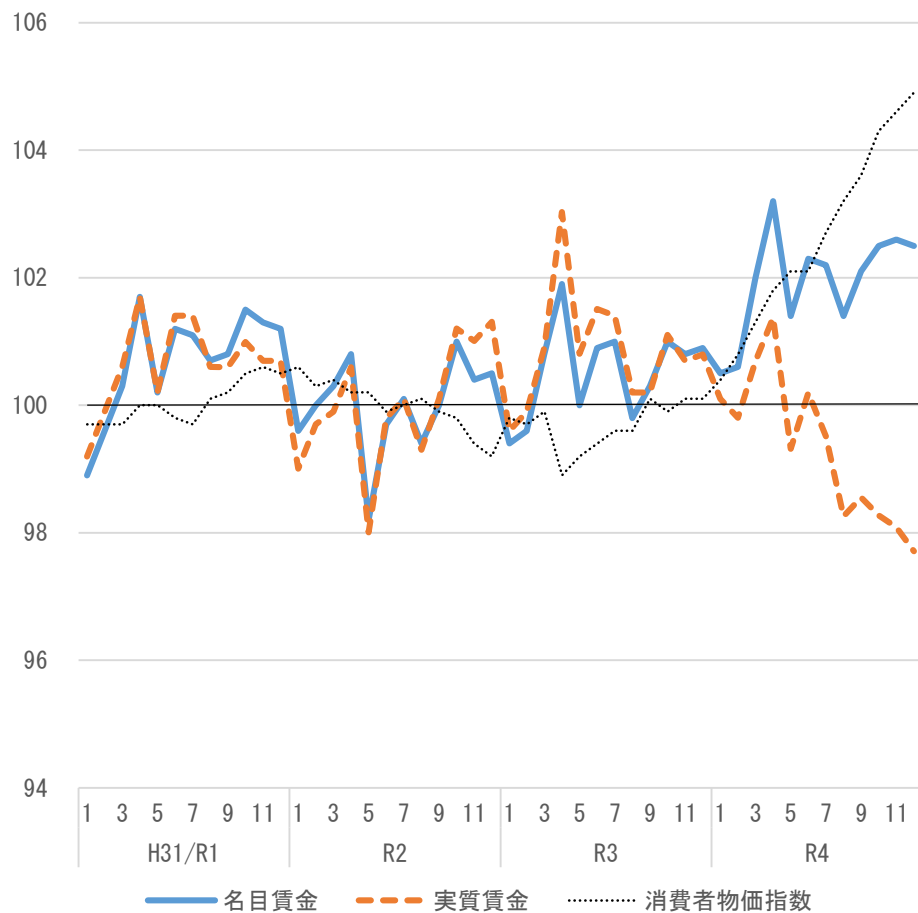
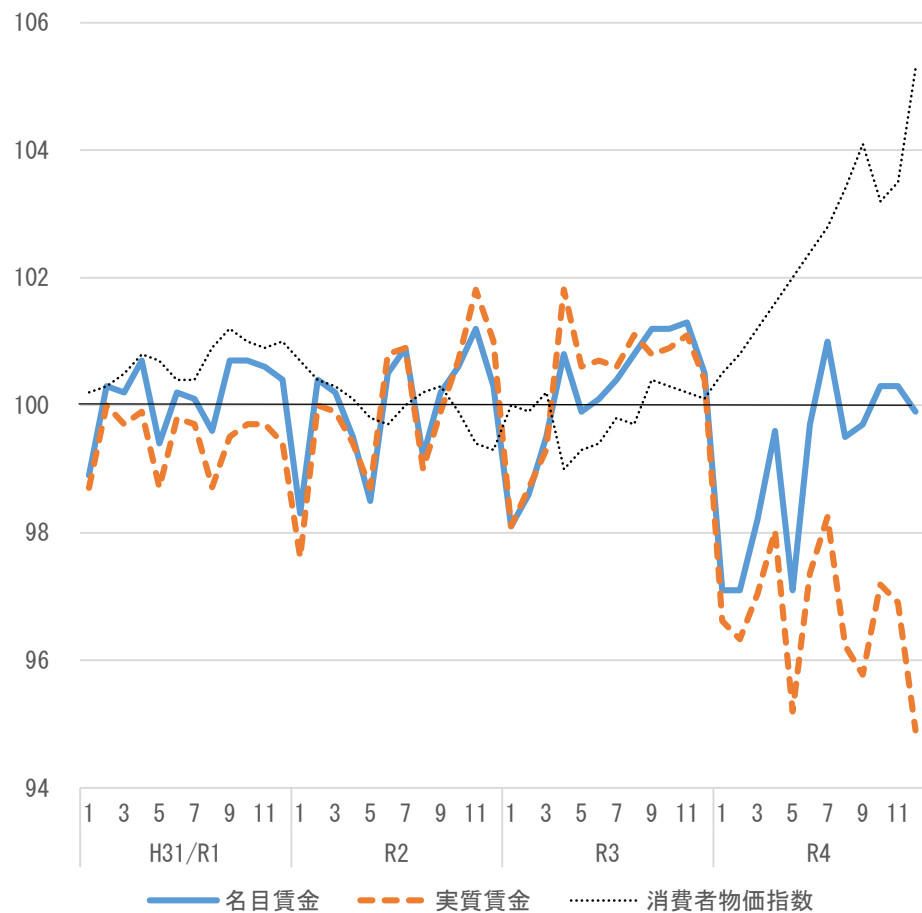
- R4.1以降、消費者物価指数が上昇。中でもエネルギーの上昇が目立つ
- R4.11、12月の消費者物価指数(総合)は、前年同月比がそれぞれ4.5%、4.6%と、H3.7以来の上昇

3-2-5 毎月勤労統計「きまって支給する給与」指数

「きまって支給する給与」指数の推移（調査産業計、5人以上の事業所）【R2=100】

島根県

全国

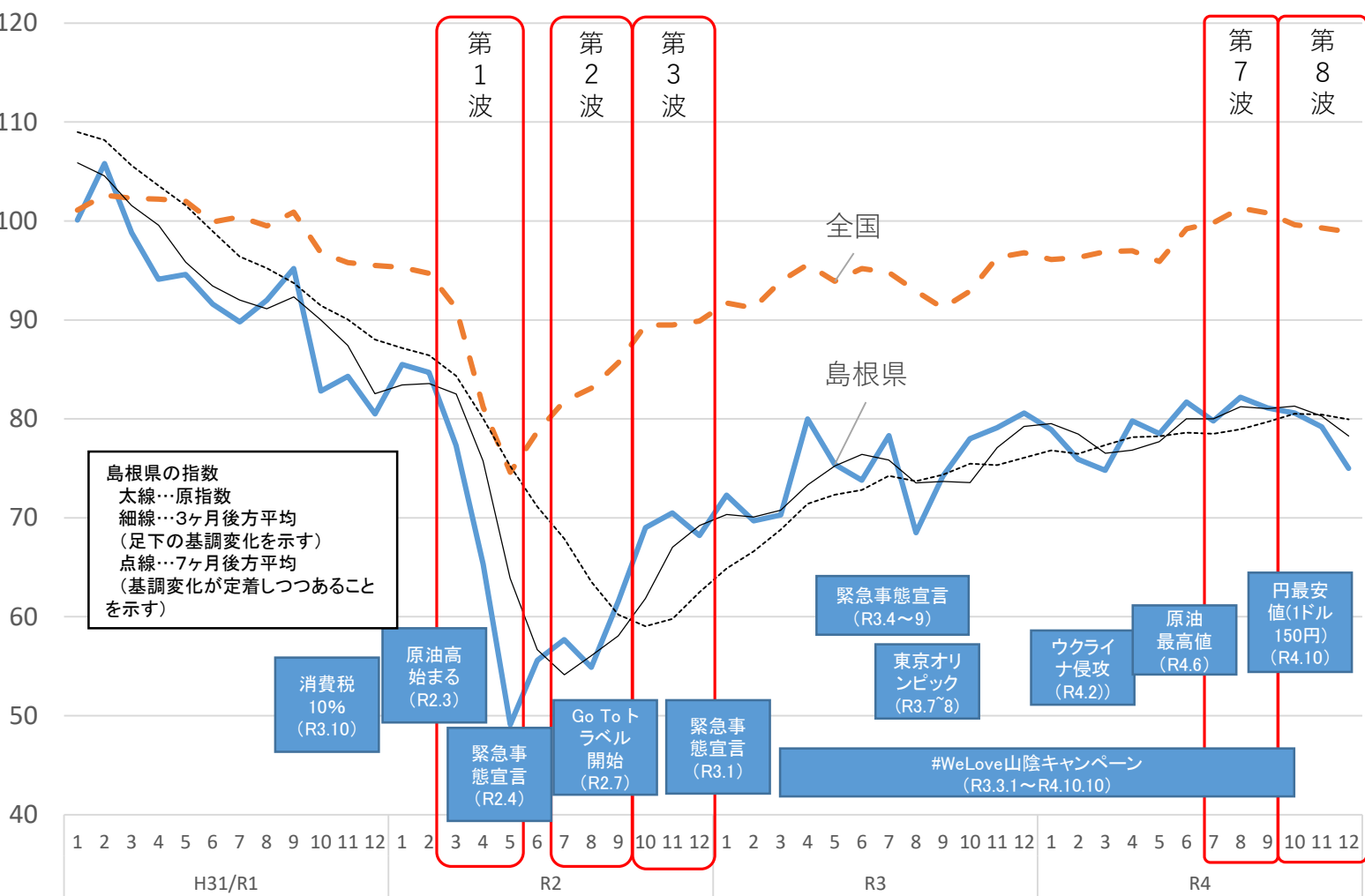


(データ出典：統計調査課)

- 物価にあわせて賃金も上昇するのが理想だが、実際には、賃金の上昇は追いついておらず、逆に乖離幅が広がっている

※ 実質賃金は、名目賃金を消費者物価指数で除して計算。ここでの消費者物価指数は「持家の帰属家賃を除く総合」

3-3-1 景気動向指数(CI一致指数)【H27=100】



- 全国採用系列**
- C1 生産指数(鉱工業)
 - C2 鉱工業用生産財出荷指数
 - C3 耐久消費財出荷指数
 - C4 労働投入量指数(調査産業計)
 - C5 投資財出荷指数(除輸送機械)
 - C6 商業販売額(小売業)
 - C7 商業販売額(卸売業)
 - C8 営業利益(全産業)
 - C10 輸出数量指数

- 島根県採用系列**
- C1 鉱工業生産指数
 - C2 生産財生産指数
 - C3 労働投入量指数
 - C4 県内空港利用者数
 - C5 建築着工床面積(非居住用)
 - C6 実質百貨店・スーパー販売額
 - C7 有効求人倍率

島根県の指数
 太線…原指数
 細線…3ヶ月後方平均
 (足下の基調変化を示す)
 点線…7ヶ月後方平均
 (基調変化が定着しつつあることを示す)

- R2.5にコロナ禍の影響で景気の底を打ったが、R3.4にはコロナ禍直前のレベルに回復。
- R4.8以降、景気低下の傾向が見られる

※ 景気動向指数は、生産、雇用など経済活動において、景気に敏感で重要な指標の動きを統合した指数。このうちの「CI一致指数」は景気変動の大きさやテンポ(量感)を、景気の動きにほぼ一致して示す

【まとめ】 最近の社会経済の動き

1. 島根県の経済は、コロナ禍の影響は弱まっているが、新たな課題も発生し、持ち直しの動きが鈍化している
 - ① 生産活動は、弱い動きが続いている
 - ② 雇用は、全国よりも高い水準で推移しているが、景気よりも人手不足の影響が大きい
 - ③ 物価は、原料高を販売額に転嫁し切れていない
 - ④ 個人消費は、コロナ禍から回復しつつあり、持ち直しの動きが続いている
 - ⑤ 物価は上昇が続いており、実質的に賃金の低下となっている
2. 今後の統計の動きに注視
 - ① 物価上昇が続く中、賃金の動きが、経済に与える影響が大きくなっており、これまで以上に注目されている

4. 国の統計調査に 関わってみませんか

「統計調査員」の紹介



活躍する「統計調査員」

- 統計調査員とは
 - 調査対象に訪問し、調査票の配布・回収・審査を行う
- 統計調査員でなければならない理由
 - ⇒ 漏れなく調査ができる(新しい調査対象の発見)
 - ⇒ 対面により、調査票の回収率・記入率が上がる
- 行政では、実態把握、計画の策定、個別行政運営、施策の報告・評価のために統計を利用
 - 迅速に、正確な統計を出すことが求められる
- 全数調査、速報性が求められる調査、高い精度が必要な調査は、今でも「統計調査員」が活躍

統計調査員の身分と義務

- 非常勤の公務員として活動
 - 国の施策に必要な調査なので、職務を正しく遂行する必要
 - 万一の場合は、一般の公務員と同様、公務災害補償が適用
- 統計法による守秘義務が課される
 - 業務に関して知り得た秘密を漏えいした場合には罰則（統計法41条、60条）

- 学生が統計調査員をやってメリットがあるの？
 - 公務員の職歴を得ることができる
 - 授業では学べない対人マナーを身に付けられる
 - 地域にふれるきっかけになる

統計調査員の仕事の流れについて

流れ

都道府県・市区町村が行う統計調査員事務打合せ会（説明会）に出席



調査の準備



調査対象を訪問



調査票の記入依頼



調査票の回収・点検



都道府県・市区町村へ
調査票を提出

内容

- ① 辞令や統計調査員証を受け取る。
- ② 調査に必要な用品を受け取る。
- ③ 受け持つ地域の地図を受け取る。
- ④ 調査内容、調査方法などについて説明を受ける。

- ① 調査の手引など、説明会で配布された資料をよく読み、調査内容を理解する。
- ② 調査用品の数量などを確認する。
- ③ 調査を受け持つ地域を実際に確認する。



統計調査の目的などを説明し、調査への協力についてお願いします。

- ① 「調査票」の記入を依頼する。
- ② 記入方法や記入上の注意事項を説明する。
- ③ 後日の回収日時を確認する。

- ① 約束した回収日時に再訪問する。
- ② 回収した調査票に記入漏れなどがいないかチェックする。

- ① 調査票を決められた期日までに提出する。
- ② 提出書類の確認を受ける。

直近の主な統計調査

	名称	所管府省	周期	調査期間	備考
毎月行う調査	労働力調査	総務省	毎年	毎月	就職・失業の状況など
	小売物価統計調査	総務省	毎年	毎月	物価の状況など
	家計調査	総務省	毎年	毎月	家計の状況など
	毎月勤労統計調査	厚生労働省	毎年	毎月※	賃金・労働時間・雇 用者数の状況
周期調査	住宅・土地統計調査	総務省	5年	令和5年 10月1日	住宅の形状や 住宅・土地の保有 状況など
	2023年漁業センサス	農林水産省	5年	令和5年 11月1日	漁業の種類、魚種、 販売金額など漁業 の基礎的事項

県統計調査課主管の調査員を経由する調査のみ

※ 毎月勤労統計調査の特別調査は7月31日

令和5年住宅・土地統計調査

【目的】住生活の実態を明らかにする

- 住宅数、国民の住居状況、土地保有の状況
- 高齢化社会を支える居住環境
- 耐震性・防火性と言った住宅性の水準の達成度
- 土地の利用状況

【結果の利用】

- 空き家率・持ち家率の把握
- 「住生活基本計画」の策定など

統計調査員に関心ある人は、市町村役場まで連絡を
浜田市総務課総務管理係 0855-25-9120

4. 最後に

大切なことは、役に立てること

- 問題を見つける力（問題発見力）
現場にも足を運んで、いろいろな経験を
- 問題を解く力（分析力）
数学的な分析
- 結果を使わせる力（実行・表現力）
プレゼンや具体化の力
KKD（勘・経験・度胸）も大事



**統計は世の中を映す鏡、未来を照らす光です！
みなさん、統計調査に理解と協力をよろしくお願いします。**

参考となるウェブサイト

【国 統計データ】

- e-Stat（政府統計の総合窓口） <https://www.e-stat.go.jp/>



- 統計でみる都道府県・市区町村のすがた
<https://www.stat.go.jp/data/ssds/index.html>

【島根県 統計データ】



- しまね統計情報データベース <https://pref.shimane-toukei.jp/>

【島根創生計画】

https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/souseikeikaku_illustrated.pdf

- （島根創生計画のイメージ動画）
<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/>
- 島根創生を進めるための新規・拡充施策（令和4年度版）
<https://www.pref.shimane.lg.jp/admin/seisaku/keikaku/shimanesousei/index.data/shinkikakujuuR4.pdf>



イメージ動画はこちら

